京城日報

六日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾錢 三ヶ月金壹圓七拾錢 六ヶ月金三圓三拾錢 一ヶ年金六圓五拾錢（郵送料共前金）

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別 ▲內一行金壹圓貳拾錢 定一行金 ▲三號活字 一行は二號活字同樣 一行は五號活字同樣

發行兼編輯人 鳩田直懿 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

汽車時間表（七月十日改正）（南行）（北行）

●獨帝伯林に歸る

コペンハーゲン來電に曰く獨帝は伯林に歸れり而して軍人會議の結果ヒンデンブルグ將軍を以て新に獨墺聯合軍總司令官となし以て露國の戰線に於て大に活躍せんと決定せり（倫敦電報）

●ヴエルダン成功の原因

巴里來電に曰く佛軍がヴエルダンに於て成功せるは敵の猛烈なる砲擊と逆襲とに屈せず組織的の前進を爲せる結果なり又ヴエルダン佛軍の活躍せるは佛軍が此の方面に於ても能く戰機を支配し今猶部分的に否是れ以上に攻勢を採り得るものなる事を示したり（倫敦電報）

●廣東の形勢稍平穩

五日正午發香港來電に曰く廣東より最近到著せる避難者の談に據れば形勢は稍平隱に歸しつゝあり目下戰鬪中の兩軍間に休戰の約成らんとするの望ありと風說せられ廣東の避難者は減少しつゝあり（上海特電）

●北支近情

●松平奉天總領事歸朝談●

奉天總領事松平恒雄氏は六日午前七時入港の商船湖南丸にて下關著七日朝到著の林大使に面會の上歸京の筈なるが其の談に曰く沈靜したる天津市場は過般中國銀行の兌換開始に依り稍景氣を挽回せるが猶余の出發の翌日即ち三日より交通銀行も兌換を開始せる筈なり而して其の範圍は北京を除きたる直隸省に限られたり北京は其の發行多數にて未だ其の運に至らざるも近く兌換開始さるべく豫期されつゝあり此の秋頃よりは市況愈々挽回を見るべし併し天津貿易額は昨年に比し數字上增加を見るに至り久しく輸出されずして在庫中の儘なりしものも漸次輸送されつゝあり又奥地よりの貨物も漸次增加を見るに至れり同地の日本租界は漸次發展に向ひつゝあるは悅ぶべき現象なり議會開會前奉天方面議員の大部分は北京に赴きたるが會議第一日は茶話會位に止むる筈なりし猶其の終了後商議會開催の筈にて目下準備中なりき（門司特電）

●露紙の協約祝電

●東京日露協會の返電●

露都ノーウオエ、ウレーミヤ新聞社長スウオーリン氏は日露新協約祝賀の爲め東京日露協會宛次の電報を寄せ來れり『現今凡ての神及び人類の法則を無視せる敵と世界的大戰爭に從事するの時に當り露西亞國は既に我大隣邦の好情に感佩すべき多くの機會を有せり而して今や貴我兩國の交誼は最も重要なる今次の協約に依り更に之を鞏固とせられたり、我がノーウオエ、ウレーミヤ及びウエチエルネ、ウレーミヤ兩新聞は玆に滿腔の祝意を表し併せて此我邦の喜悅に對しては日本國民に於ても必らず同感なるべきを信ずる所なり我貴協會に對し兩國親善を目的とする貴我共同的事業の成功を祈り貴協會を通じて我輩の祝意を日本全國新聞に傳達せられんことを請ふ』此れに對し日露協會は次の通り返電したりと『本日御懇篤なる御祝電を領し深厚なる謝意を表す、新協約は全日本國民の熱誠なる歡迎を受けたり貴國民も亦同感を表せられたること信ず本會は貴下御監督の新聞が日露兩國親善關係を將來益々鞏固ならしむる爲め諸般の助力を惜まれざるを確信し本會も亦同一の意義に於て盡瘁すべきことを聲明し玆に衷心より敬意を表す』

●茶話會諸問題

支那國會停會中に於ける

支那國會は去る一日圓滿に開院式を擧げたるも議員數は辛うじて法定數に達せりと謂ふのみにて湯議長すら未だ入京せず又議員間は其外面の平和圓滿なるに反し裏面には種々な險惡なる暗潮橫流して開院當面の諸問題に就き必ず激烈の抗爭ある可きを以て二週間停會することとし此間數次茶話會を開き副總統選擧問題、議員歲俸改訂問題、院法修正及び兩院月費豫算の編訂問題、議員缺數確定及び補充問題並に憲法大問題等に就きて豫め各議案を審查し其意見の疏通を圖る筈なり憲法に就きては議員間に三派の意見あり甲派は天壇既成の憲法は兩院議員及び多數法學者の手を經て起草し頗る完全の者なれば之れを其儘議會に提出す可しと云ひ乙派は天壇憲法は袁項城の壓迫指命を受けたる者にて條章完美と謂ふを得ざれば別に新に憲法委員を選定して起草せしむ可しと主張し而して丙派は兩者を折衷し天壇憲草案に適當の修正を加へ之れを議會に交附すれば可なりと云ひ其主張皆一致せざれば停會中の茶話會に於て之れに關する議員大體の意見を纏め以て民國の基礎たる憲法を速定し成る可く本年內に之れを公布する筈なりと

●蒙古鐵道再議

內外蒙古貫通の蒙古鐵道敷設案は財政困難の爲め久しく實行されざるが支那政府は日露協約に加へて道設擾匪の激發に鑑みて該鐵道が蒙古防務計畫上の最要者にして且つ平時は蒙古開拓に資すること多大なるを以て再び之れが敷設を計畫せるが庫倫都護陳籙の如きは此事に對して太だ熱心なる主張者なりと（奉天）

●內蒙電線計畫

支那政府は西北邊境の電線架設を計畫し目下交通部に於ける其準備は頗る進捗せる由なるが該線架設の內容は左の如し

（一）東蒙昭烏達盟より東卓索圖、哲里木兩盟を經て奉天に到る者

（二）昭烏達より西烏林果勒烏蘭察布依昭克等諸盟を經て阿爾泰に到る者

（三）綏遠より新疆に到る者

（四）四川打箭爐より青海伊犁に到る者

（五）熱河より北京に直通する者

●奉天城大警戒

多數宗社黨の入込みたる形跡あるより奉天城內は既電の如く戒嚴令を布き軍警は總出にて各處を巡邏し一々行人を檢查詰問し少しにても擧動言語の怪しき者は檢擧し又密偵等は妓館、飮食店を漁りて匪徒の發見に努め夜間十二時後は何人を論せず乘馬し又は空車を走らすことを嚴禁せり（奉天）

●黑龍江農銀設立

黑龍江農工銀行は土地開墾資金貸出を主なる目的として兼て爲替兌換事務を行ふものにして大正五年六月末組織せられたる官商合辦公司より資本金大洋二十萬元にして本店を訥倫縣に支店を克山縣に出張所を齊々哈爾訥河及び哈爾賓に設置し既に營業を開始せりと（在齊々哈爾二瓶領事報告）

●朝鮮麻布好況

朝鮮麻布は品質優美にして強靭なるより鮮人間の需用漸次增加し製造業者は各戶とも全力を擧げて之れが製織に從事し居れるも尙ほ供給不足の盛況なり、殊に其の材料たる朝鮮麻は既に拂底となり昨今にては殆ど其の全部を內地に仰ぎ居れる有樣にて需用の增加と材料の缺乏とは自然價格の上騰を來し昨今の市價一疋一圓三四十錢を下らず之を初夏の頃に比すれば十五六錢內外の騰貴なり

●古阜水利近狀

全北古阜水利組合長北尾榮太郎氏等は過般來入京中なるが其の用向は總督府に人選を依賴せる組合技師長選任の件にあり近く決定の上は可成速かに工費五十餘萬圓の起債及び工事認可の申請を當局に提出すべしとの事なるが其の設計も過般の全北出水狀況に鑑み多少排水設備を全ふする上に於て變更を來すべく諸種準備に日を要するに付本年の工事は溜池の擴築並に明年工事の用意位に過ぎざるべし尙ほ普通水利組合は設立認可を得る迄に調查設計に一萬圓位を要するも古阜水利は最初より東拓の援助深きものありし爲め經費の節約著しきものあり組合設立迄に僅々九百圓を費やすに過ぎず

●京城手形交換

七月中京城手形交換所の手形交換高は枚數三萬九百六十九枚五百九十九萬三千八百七十圓にして之れを前月に比すれば枚數六千枚金額三萬餘圓の減少となり居れるも前年同月より六千三百六十枚七十七萬圓を增加し居れり尙ほ一日平均交換高は一千百九十一枚二十三萬五百三十三圓なり

●通信收入狀況

朝鮮全道に於ける六月中の通信收入現計は二十五萬三千七百九十圓にして前年に比し四萬二千四百六十圓の增加を示せるが四月以降の累計は八十九萬八千六百九十圓を算し前年より四萬九千圓の增加となり居れり但し尙ほ之れを收入豫算額に比すれば約四萬圓の減收となる由

●朝鮮輕鐵新計畫

朝鮮輕便鐵道株式會社にては既定線路の外今回新たに鳥致院、淸州間、成歡、忠州間の二線路を出願することゝ決定し來る十日頃鐵道局に對して之が出願を爲す筈なるが同線路は總哩數百十八哩にして工事費二百八十六萬圓を要する豫定なれば第一期完成の上は當然增資を行ふに至るべく增資の額は總資本を六百萬圓となす可しと（釜山）

●移民應募七百戶

東洋拓殖會社にて春來募集中の第七回移民は近來應募申込者漸次增加し昨今の申込所七百餘戶を超ゆるが最近の申込は團體より單戶移民多く主として中國及び九州方面なりと尙ほ村上殖民課長及び外一名は先程來移民勸誘の爲め內地八縣に出向中なれば此の方面よりの應募者締切頃迄には漸增すべしと豫測さる

●仁川水產界近況

七月中仁川港を中心とせる近海の漁業に從事せる漁船は凡そ二百二十隻にして當月は例年の如く濃霧暴風の爲め幾多の障害を受くる時期にして上半月は大なる被害なかりしも下半月後に於て豫定の如き障害あり鰯漁に於て客月より引續き不漁なかりし爲め大連、鎭南浦方面へ移漁したる漁船數も六七十隻を下らず鯛、鱏、赤魚等に於て昨年より減少せしも鯛流網及び鮟鱇網に依る鰈漁に於ては好成績を擧げ昨年今期に比し二千餘圓を增加し一般漁獲の減少と共に騰貴し昨年同期より三千餘圓の增額を示せり八月に入り舊曆七月中旬頃より海月を餌とし漁獲する鯛の漁期に入るを以て目醒しき活動を見るべし當本月中漁船回航度數及び水揚高は日船二千二百五十隻一萬九千三百六十四圓鮮船百八十隻二千圓釜山其他委托品百五十圓にして同期間の重要魚類の價格を示さば鯛の十尾入を筆頭とし鮑十圓サワラ九圓鱸八圓鮮海鰻鰺鱧の七圓メバルニベの六圓五十錢エイ及びヒラの四圓等なり

●製綿會社臨時總會

朝鮮製綿會社は客月二十八日の定時總會にて流會となり本月四日再び總會を開會したる結果彼の脫脂綿引受問題本期決算報告承認の件等に就ては大體株主の承認を與ふることゝなりたれども同時に此役員會に於て會社の大刷新を斷行するの必要ありとの說株主側に起り共ため來る十八日午後一時より商業會議所にて臨時總會を召集することゝなり六日其々各株主に對し召集狀を發したり臨時總會にては例の脫脂綿引受の件及び五名の取締役中從來の山下新太郎氏の辭任後缺員の儘となり居れば此際補缺選擧を行ふと同時に株主側の諸る所を聞くに會社の現狀は外部より兎角の批評を受け株主として甚だ不安に堪へざる所なれば今回定款を改正し重役以外に三名位の相談役を置き會社の營業方法等に就て時々檢查を行はしむる事となりたれば今後に於て世間の惡評を蒙るが如きことなかるべしと

●漢農鳥致院支店

漢湖農工銀行にては先月二十九日の株主總會にて決議したる同行淸州支店鳥致院派出所を鳥致院支店に昇格するの件は三十日總督府に認可を申請中に付近く許可の指令あるべし

●京城局通信事業成績

京城郵便局本年四月乃至六月迄三箇月の通信收入は十五萬八千三百三十五圓にして之を前年同期に比すれば九千七百七十五圓の增加を示したり昨年は一般市況疲弊の影響を受けたる爲め事業の成績にも格別の好況を見ざりしも本年は何等特別の原因なきに拘らず增加を示したるは全く經濟界の順調なるに因るものと云ふべし因に收入印紙の如きも同期は昨年よりも三萬四千八百三十六圓の增加を見たり是れ一に營業令發布と同時に營業の勃興せるに由るものと云ふべし

平壤

▲百三十銀行平壤支店長特任 百三十銀行平壤支店長山本直四郎氏は今回大阪府平野支店長に轉勤することゝなり本月四日出發赴任する由なり▲寄附金募集許可 平壤大典記念公會堂建設寄附金募集延期の件は八月一日付を以て其筋より許可せられたり▲會計檢查 會計檢查の爲め本月一日以來來壤せる大島總督府事務官外屬官三名は四日道廳の檢查を了し五日より平壤府の檢查に從事し居れり▲種牛移出 平壤府廳より種牛として買入方交涉ありたる平壤牛四頭は本月四日買の契約なり五日平安南道勸業課に於て授受を了し馴附、輸送したるが該牛は何れも一頭百圓內外なりと▲公會堂寄附金 御大典記念事業たる平壤公會堂建設費豫算八千圓中四千餘圓の寄附ありたるも未だ豫算額に達せざるに寄附金募集期限切れとなり代表者大橋恒藏氏より之れが延期方出願中此程道警務部長より本年十月末日迄寄附金募集の件を許可ありたり▲驅梅費補助 平壤府に於ては大正五年度平壤驅梅院檢梅補助として府費七百二十圓を支出せり

元山

▲商業評議員會 元山商業會議所にては二日午後三時より評議員會を開き日本海橫斷航路開始、平元鐵道布設及び商船學校設置の三問題に關し協議の結果請願書提出に決し安廷協、本間、小田、高野、川口、段原、皮川、鑑谷の八氏を委員に選び一切を囑託して散會せり▲商議役員留任勸告 元山商議經費豫算の一段落を告ぐると共に副會頭の木本芳輔氏は評議員を何れも辭任の旨申出でたるに就き會議所にては前記評議員の席上に於て右兩氏に對し飽くまでも留任の勸告を爲すべく總代に一任する事となり目下頻りに留任勸告中なりと

仁川

▲公人來去 石塚農商工部長官以下總督府官吏及び宮部京城本町署長外同署員一同は六日午前九時五十八分紐峴驛著青木總督府商工課長は家族同伴同列車にて著石塚長官一行は六日八坂樓にて開催の仁川會へ列席し宮崎累長は內港にて舟遊を催し即夜歸京青木商工課長は海水浴の爲め八景園に入りたり

淸州

▲警務機關の異動 近來忠北管內各地の鑛業勃興其他に依り地方の發展消長著しきため從來の警務機關配備にては不便甚しきものあるに依り地方の情勢に鑑みて憲兵派遣所及び出張所の改廢を行ふことゝなり八月一日附を以て發表せられたるが新設せられたるものは忠州分隊管內に於て寄兵出張所四箇所沃川分隊に於て同一箇所にて廢止せられたるは忠州分隊に三箇所沃川分隊にて一箇所にて變更せられたるは忠州分隊文義派遣所を出張所に改變せられたり▲大淸潔法施行 過般來五旬に亙る霖雨に數回の出水ありて下水溝井戶水の不潔及び家屋內の濕潤甚だしく病毒發生の虞れあるより淸州警察署にては管內全部に亙り八、九、十一の三日大淸潔法を擧行することゝなしたり

天安

▲天安近況 天安邑は現今內地人戶數百六十戶人口六百五十餘人戶數千四百戶人口七千人餘にして同市場の如きは實に盛んなるものなり重なる取引品はメタイメリケン粉及び鮮人向雜貨品等にして溫陽並に川笠場市場の商人に卸取引多く行はれ居れり而して天安驛の狀況を示せば本年七月乘人員數二千九百十九名金額二千二百十一圓に對し二十七錢之れを昨年七月分月計に照せば乘車人員二千五百八十三名金額二千三百十二圓五十錢なり故に人員に於て三百三十六名金額百七十圓七十七錢の增收を示せり又下車人員を對照せば本年七月分三千六十四名昨年七月は二千五百五十四名に五百十名の多數人員の增加を示し居れり▲農作狀況 天安郡は年々降雨鮮なき爲め植付せざる水田四割以上になりしが本年は例のなき降雨多く爲めに畑地の如き地に至る迄植付し目下は非常に農作を示し居るに因り各農家は本年は增大の收穫あるとて大に喜び居れり

大田

▲檢米成績 大田檢米所七月成績を聞くに總數四千三百三十一叺にて上格四千百八叺下格百二十八叺不合格九十五叺を出したり仕向地は仁川渡し米にして多く興業會社より出でたるものなりと▲局長動靜 持地土木局長小原忠南長官及び山岡技師一行は四日午後十時四十分江景より來田官民の出迎を受け中川旅館に投宿五日朝一同腕車を連ね大東川及び鎭山街道等の水害被害地を巡視し十二時より富士家にて開催せる當地重なる官民の午餐會に臨席し午後五時發にて一行五人それ〳〵歸任せり▲面長會議 大田郡廳にては定例面長會議を廳內に開き事務打合せをなし午後五時閉會せり▲演習兵歸隊 第七十九聯隊本部にて機關銃演習中なりし派遣隊演習は五日何れも所屬隊に歸還せり▲畜牛狀況 郡內畜牛は現在四千五百頭にして內耕牛二千五百牡牛三百種付牛二千二百あり內改良種付牛二百頭あり元來種牡牛取締規則無きを以て亂交尾を爲す爲め約六割位は良好と云ひ難きも各面に三十三頭の種牡牛を配しあれば漸次改良せられ今後年々三百餘頭增殖の見込みなり

全州

▲農事組合計畫 全北道に於ては農界の趨勢に鑑み農事組合設立の計畫を樹て目下其具體的方案に就き考究中なるが遠からず之れが發表を見るに至るべし其の趣旨とする所は從來自作農漸く其數を減じて小作農又は自作兼小作農之れに代るの傾向を生じたるを嘆ひ之れが救濟策として小作人に低利資金を供給するに在りと▲講習會開催 來る二十日より七日間第二普通學校に於て道內公立各學校教員の夏季講習會を開設し科目を國語、唱歌、體操、算術及び敎科書取扱方、敎授實習等にして講師としては京城高等普通學校敎授の臨講を求むる筈なりと

木浦

▲七月木浦驛 當驛營業狀況を聞くに乘客三千百八十一人降客三千百九十七人計六千三百七十八人にして之を前月に比すれば八百九十五人を減じ貨物は發送四百三十七噸到著三百六十一噸計を前月に比すれば發送に於て百九十噸到著に於て四百五十六噸七を何れも減少し收入は客車五千百十八圓倉庫五十五圓貨車千七百十七圓合計六千八百九十二圓にして前月に比し貨車收入は千五百七十六圓を減じたるも客車收入二千三百三十七圓を增し結局合計に於て八百七圓の增收なりと▲出入貨物噸數 七月中當稅關支署を經出したる當港出入貨物噸量は輸移出貨物二千七十三噸輸移入貨物三千五百七十二噸運送外國貨物一噸運送內國貨物五百三十九噸外國貨物百二十五噸合計六千三百十噸にして之を六月に比すれば二百四十二噸の增加なり▲務安棉作況 務安郡陸地棉作況を聞くに目下草丈平均四寸より四寸五分にて枝數平均〇、六乃至二、〇蕾平均〇、三乃至一、五にて開花は平年より約二週日遲れ來る十日頃より二十日迄なるべく昨今害蟲の發生も少なからざれば平年作に比し約三割減收の見込なりと

鎭海

▲鎭海景氣不振 第三艦隊去りて再度の入港を豫期せし鎭海市街は人氣大に沮喪し十月以後年末には又々四十五年頃の悲慘なる市況を呈せんかと浮說となるものし多く遠き將來に望を屬するものゝ外は左思右慮落著かざる姿にあり▲要港部新棧橋 鎭海要港部浮棧橋受取の爲め引曳すべき要港部老虎尾丸は既に出發し同地に向ひ目下航行中にありとのことなるが八月一日には鎭洞灣に入港すべく到著の上は支部棧橋は更らに一段の美觀を呈すべし▲高津管長歡迎準備 鎭海山口縣長府町別格地黄檗宗覺苑寺住職進老端堂師に依りて經營されし方觀音山は今回經營の規模を擴張し本堂を建立し同宗本山前管長高津柏樹老師を迎へんとの計畫あり▲本年の麥作付反別 鎭海面本年の麥作付反別は水田畑合計二千六百六十六町五反步なりしが之が收穫は水害風雨の被害妙からざりしに拘はらず五千百十二石に及びたり

淸道

▲郡廳新築進捗 慶北淸道郡廳は舊邑內より驛前に移轉目下新築中なるが已に基礎工事を了し十日頃棟上なし遲くも十月迄には全部落成移轉するに至る可し▲淸道公醫更迭 淸道公醫として多年盡瘁せし槇氏は今回英陽邑へ轉勤を命ぜられ九日出發後任には英陽公醫長谷部氏にして去る三日著任さる▲淸道驛移出米 目下米穀の出廻り少なく小口は既に放資し大口は多少貯米の見込みなたざる爲め平放さず市場極めて閑散なれども一箇月約三千五百叺の移出米あり▲管內戶口 淸道警察署管內最近調查戶數は內地人百七十一鮮人一萬五千七百五十一計一萬五千九百二十六人口內地人五百九十二鮮人七千九百卅三外人五計八萬五千三百五十一人を警察官一人にて二千三百五十一人を管轄する比例にて朝鮮全道を通じ第一多數なりと

人事消息

▲永澤彥四郎氏（新義州營林廠庶務課長） 六日朝退京

▲武內文吾氏（江原道第一部長） 同上

▲大谷正之助氏（釜山稅關事務官） 同上

▲神林啓太郎氏（咸興裁判所長） 同上

▲黑崎定三氏（司法局參事官） 五日退京

▲高草朴介氏（鐵道院西部管理局副參事） 同上

▲片岡氏方直（近江銀行營業課長） 同上

●内蒙を蹂躙に懸ける
蒙匪の首魁巴布札布
二十世紀の成吉思汗=某將軍談

蒙匪の精鋭を率いて將に洮南に殺到し勢に乘じて鄭家屯をも居らんとして居る蒙匪の首魁巴布札布とは何んな男かと云ふと二十世紀の成吉思汗と綽名された快男子で彼は内蒙古蒙古鐵の生れで

▽當年取って 四十一才の男盛である騎馬軍を率いて茫漠たる蒙古の大曠野を縱橫に馳驅するのは彼が天稟の才能であるが上に部下を愛する温情と人を引附ける魅力とを以て居る處は天晴英雄の資格がある彼は自ら蒙古の救世主を以て任じ支那人と商人とが大嫌で其の

▽理想とする處 は滿蒙を統一して清朝を守り樹て日本の保護を仰いで獨立しやうと云ふのであって非常な日本贔負である彼は日露戰爭の際は義軍と云ふのを興して當時の我特別部隊の橋口少佐の左翼部隊に加はって神出鬼沒東清鐵道の破壞を企てた事もあった而して一方今の二十八師長

▽馮麟閣と策應 し滿洲の保全に努め後彰武縣の巡警局長となって居たが第一革命の時點惣奸亂の烏泰王や勝福が外蒙獨立を唱へて兵を擧げ全蒙の大動搖を來した際にも巴布札布は烏泰王に從って奮戰したが洮南の一戰に烏泰が敗亡して投降するや彼は

▽漂然外蒙古に 行った活佛は喜び迎へて陶什陶蚻吉等と等しき地位を與へて大に優遇して居たが露支協約が成立して外蒙が獨立するに及んで西烏珠穆沁に赴き内蒙の軍事を總攬して東部蒙古都督となって密かに天下の形勢を窺って居た當時故袁世凱氏の如きは彼を恐るゝ事甚だしく

▽種々の術策を 以て彼を手裡に容れんとして肝膽を碎いて居た程であった昨年の五六月北京に居た獨逸將校八名が假裝して支那兵三十人を伴ひ西比利亞鐵道破壞を企てた時の如きは彼は直に蒙古橫斷中の一行を捕へて三十八人を慘殺して和蔭で此の恐ろしい陰謀を實現させずに濟ませた事もあった斯くして

▽野心滿々たる 彼は好機の來るを待って居たが之と同時に宗社黨の連中からも擧兵の相談があった處へ氏が突然易簀すると同時に機の到れるとなし彼は多年養ひ置いた部下を提げて張家口から北京を脅かしたが今回は更らに其の方面を代へて

▽洮南方面に 迫って來たのであろ彼は普通一片の蒙匪とは異た處があるから今後の模樣によっては油々しき滿蒙の大騷亂にならぬとも限らぬのだらう

日曜の朝……鎭島にて……

●虎疫續出
▽商船布哇丸の大消毒 ▽橫濱棧橋附近の混亂

虎列剌病發生の爲め目下橫濱港長濱消毒所碇繫中なる大阪商船布哇丸の乘客中去る二日迄に既に二十名の患者を出したるに同消毒所開設以來の椿事として世の注意を惹き居れるが三日午前八時に至り又復三等客大阪府泉南郡貝塚町西坂安吉(三)疑似患者と診定され其の後更に二名の

▼新患者發生 したり、されば神奈川縣港務部よりは鹵友八戸兩港務官補田港務醫官以下の醫務課員全部橫松驗疫官補等消毒所に詰切りて徹宵防治療に從事せるが右の外傳染病研究所よりは二木博士、宮本、高木、田宮三學士、內務省よりは加藤防疫官等出張應援し居れり尚消毒所に回航されたる汽船の乘客は上陸檢診後從來ならば船內消毒と共に歸船せしむるが例なりしも今回は乘客一同

▼危險を恐れ て歸船するを肯せざる爲め特に棧橋附近の空地に二個の大バラックを設けて玆に起臥する事となれるがいづれも前途を急ぐ者なるより不慮の災難に依りて今日迄一週間餘危惧の思ひを抱きつゝ空しく停船せるに對し不平を漏らす者ありバラック急施工事にこれ等百數十の男女立交りて混雜を極め居れり尚同船が橫濱岸壁に繫留中上陸し遊廓內にて遊興せる船員船客四十六名あり其妓樓二十一軒娼妓四十五名なる事判明したれば三日右の各妓樓從業者一同の健康診斷を行へり(東京電話)

□朝鮮の鼈
近江の白鼈—朝鮮から內地へ—鼈の交尾期—産卵と壽命—雌雄の區別—支那の鼈—玳瑁と鼈甲

鼈は內地では餘程古くから知られて居たものと見ゑ、文武天皇の三年九月近江の國から白鼈を獻じたといふことが續日本記に載ってゐる。本邦中鼈の居らぬ處は樺太と北海道丈けで其の他は至る處に棲息してゐるのであるが、本土では

▽琵琶湖産 をはじめ下總常陸、備前、尾張邊りから出るものを上等品とし備中、備後、肥前、薩摩などは下等品となってゐる。また朝鮮では慶尚南道、忠清南道、全羅北道、京畿道が最も多く江原道、慶尚北道、全羅南道などにも相當の產額がある、朝鮮から內地へ

▽活きた鼈 を出し初めたのは明治三十七八年の事であったが此奴は自分の小便が體軀に掛ると其處から腐蝕して死んで仕舞ふ爲め隨分困らされたものであった、併し近來は輸送の處分が巧者になったので移出額は年々增加し大正三年には釜山木浦、馬山などから七萬六千四百五十六斤、價額一萬六千七百三十餘圓を出したが四年には九萬三千七百八十八斤に上った

▽其の價額 も二萬圓近くに達してゐる。鼈は昔しから補血若くは痔疾に驅効があると傳へられ殊に其の生血を貴むだものだが支那でも亦温補に妙なりといひ其の甲羅は膠の材料となって所謂鼈甲が製られる鼈の交尾期は四五月頃で六七兩月に亘って四回許り產卵する。卵を產む時は後足で泥を掘り其の中に放產する其の卵は徑五分乃至七分、重量六匁乃至一匁六分位、金柑其の儘の形だが五十日から八十日許り經ると

▽孵化して 一錢銅貨位の甲羅を着けた可愛い鼈となる、これが月日を重ねて五六歲となると一匹前の鼈となり、生殖器が發達して雌雄相呼應する、壽命は大抵四五十歲のものださうだが最も達者な時代は十歲前後で強壯な雌は一回の產卵數二十顆以上三十顆に達すといふから一年には百顆以上に及ぶ譯である。其れから

▽鼈の雌雄 を見分けるには雌は背の眞上から見ると肉が厚く、甲羅が外に出張って居らず又た尾が短いが雄は甲羅が尖って體が薄く尾が長いから直ぐ判別することが出來る、さて日本產の鼈は暗綠色を呈し肉も甚だ美味であるけれども朝鮮產のものは黃褐色を帶び肉が薄くて多少不味い樣である、其處で內地では朝鮮の鼈は大抵二三箇月間內地の池に飼て淺蜊貝抔の飼料を與へ

▽色が暗綠 色となり味が美くなるのを俟て日本產として販賣するの方法を採ることが最も得策だらう。移入の儘で賣ると價格が安いからである。支那の鼈には朱鼈、納鼈、不鼈などの種類があるが日本では今は一種類となってゐる、开して支那では之れに脚炎、跛奴、綠衣郎等の呼稱があり、日本でも京都の大內裡では之をマルと呼び九州では河鍋、三重地方ではドチといふなど至る處方言を異にしてゐる。終りに一言すべきは

▽鼈甲の事 だが之れは玳瑁の甲であって鼈の甲羅は膠の材料とする外今の處では何の用途も無い例の玳瑁の甲を鼈甲と呼ぶに至ったのは德川幕府が大儉約令を發した以來のことで、當時贅澤品の賣買は一切法度となった爲め玳瑁の甲を鼈甲と呼び眞珠を細の目といったのが傳はって今日に及むだものである

●被告悉く保釋
保證金五百圓宛納入す

談合事件に對する第一回被告小林長兵衛以下八名第二回被告鍛冶以下九名は四日保釋を許可されたるも當日は已に午後七時半なりしかば其手續をなす能はず五日各自保證金五百圓宛を納入し直ちに保釋の手續を了し關係者一同各辯護士の熱心なる申請と西山判事の同情ある處置に孰れも感泣しをれりと

●加藤課長喚問
談合事件に關し辯護士が被害者たる鐵道局を審査せずして之れを公判に附するが如きは何れの地にも見ざる異例なりとて第一回公判廷に於て被害者側加藤鐵道局經理課長の喚問取調を申請し却下されしも第二回公判廷に於て各辯護士の議論を經るや西山判事は少しく思ひ當る事あり加藤經理課長を喚問すべしと宣し五日直ちに電話にて其旨加藤鐵道局經理課長に通牒せり

●夫戀し娘戀し
▽亡夫の命日に自殺す

全北金堤郡月村面竹山里鄭某の妻は數年前夫に死に別れ娘と共に味氣なき月日を送り居りしが縁あって娘は白山面南山里姜門に嫁ぎたれば益々寂寥を感じ夫を慕ふの念いや增さりて轉々自殺を企てたるも家人の發見する所となりて其意を果さずありしが不幸にも嫁したる娘が病死したるより其の悲嘆やる方なく去る二十五日亡夫の命日を期し祭事を營みに行きたる上遂に自殺したりと

●阿片を携帶す
慶北金泉郡別山面淸居洞金錫鉉(三二)星州郡倻泉面馬水洞姜周煕(四二)同郡同面金明鎭(三)居昌郡加北面龍岩里許佑(五)同所李敬香(四)の五名は本月一日午後十一時頃達城郡河濱面旅人宿南石寶方に投宿せるが同所の駐在巡查は其擧動を不審と認め取調べたるに阿片煙を携帶し居れるより嚴重訊問せるに支那人に賣りつけん爲め某地へ赴く途中なる由を申立てたるより其儘引捕へて大邱署へ引致せり

●僞僧侶の強請
廣島市生れ櫻井田松太郎(四)及び茨城縣茨城郡生れ黑木忠亮(六)の兩名は僧侶に扮し五月初旬朝鮮に渡り釜山京城仁川各地を巡回して寄附金を強請的に募集し強請を受けたる金額百餘圓に達し六月下旬平壤に入り込み來り例の手段を以て數箇所より金錢を詐取し居たるを平壤署刑事に捕へられ檢事局に送られ各三箇月の懲役を申し渡さる

●嫉妬から亂暴
平壤府寺洞土木請負業山根熊一郎(四)は今より十年前鮮婦人尹春園と內縁の夫婦となり尹は酒幕を營み居れるが去る七月二十六日同人は外出先より飮酒して歸宅せしに自宅客室に金楨周といふ男が醉臥して居たるより自分の妻と姦通せるものと誤認して同人を毆打し尚ほ家人が驚き逃走したるを憤りて附近なる南門町金志潤方に亂入し家人を毆打し蚊帳其他の器物を手當り次第に破壞して亂暴の眞最中警官出張して同人を取押へ取調の上八月四日平壤地方法院檢事局へ傷害罪として送らる

●僞造朝鮮貨幣
大阪難波署にては二日來僞造朝鮮二錢五分白銅を荷車に山の如く積んで押收し來り關係の澤商等部長以下秘密裡に活動して居れば取調の進行に連れては以外の遠より連類者を出すに至るべき模樣なるが同僞造貨幣は大韓光武二年と刻みあって實物より少しく輕量にて製造頗る粗製品なり右は他府縣にて製造したるものらしく先頃朝鮮より歸來したる何者かと買取りて隱匿し置きたるを發見されしもの、如し(大阪)

●卽決一束
仁川金谷里番地不詳金奉俊(五)は本月二日外里鐵橋下に人力車に鮮類を滿載して販賣し居たるを發見せられ又は支那町四十三番地雜貨商孫長榮(三五)は同館奈倉庫前道路に薪を山の如く積み交通を妨害し又支那町四十三番地理髮業盧良俊(四)は理髮業取締規則違反の廉を以て五日仁川署にて何れも科料五十錢宛の申渡しありたり

●空家泥棒逮捕
釜山府寶水町一丁目無職野村乙次郞(二)は去月二十一日來同地の追間氏所有の空家に忍入り建具其他の建具を竊取せしを手始めに數箇所の空家に忍び入り代價百數十圓の建具を竊取して取押へられ去る五日釜山地方法院に於て公判開廷の結果懲役一年二箇月に處せらる

●暗黑の幕に包れた
土木請負(二)
無罪と有罪の論據
今度の事件の內情

今回の談合金事件の法律上の解釋は司法官側にあつては『鐵道局が請負人等に指名入札を爲さしむるは請負業者が連絡して暴利を貪らんとするを抑壓することを前提とするものである然るに請負人等が

◇此の條理に 反し入札前に密かに會合して入札の最低額を協定し各獨立を裝ひて當局を欺罔せり』と云ふに有り猶之れに附隨して其の談合金の額が工事額に對して比較的割合にして斯くの如き多額の金額を徒らに分配するは公益上認容すべからざる問題なりと論じ又今回の被告の辯護士が法律上の立場から

◇辯護する處 に由れば『今回の鐵道工事請負入札は普通の競爭入札にあらずして指名入札である指名入札なるものは必らずしも最低價格の入札者に工事の請負を爲さしむるものではない、注文者卽ち當局が見積豫算に近き者と適宜自由に請負はしめ得るものである而して

◇談合入札と 工事の契約とには必然の因果關係を有つて居らぬ』此の解釋の上から見て犯罪が成立しないと論ずるのであるこれ辯護士の議論を俟たず既に昨年十二月に於ける談合金事件が高等法院に於て無罪を宣告された事も新らしい事實として

◇請負業者の 意を強くして居る處であるらしい又辯護士が法律上此の事件の被害者の無い處から犯罪が構成しない事を主張して居るが但し法律の議論は別として常識を以て此の事件を判斷すれば何者と雖も其の公益を無視し德義に背反して居ると云ふ事は

◇一日瞭然たる 處で何等議論の餘地が無い如うに考へられる併しながら從來其の內情の餘り詳しく社會に知られて居らぬ土木請負業者の間に在つては亦自然彼等一流の解釋法あって談合金なるものが何故に法律に抵觸し

◇何故不德義 なるやを解するに苦しむが如くである最も其の內情に立入れば穴勝ち外界から考へて居るが如き事ばかりではない其の一例を擧ぐれば今回の事件の首魁たる津田加藤兩人より支出したる談合金の如きも必ずしも工事の利益金を見越して其の幾部分を提供したるものではなく

◇津田は長く 大邱に在りて請負業に從事して居つたが未だ曾て二三萬圓以上の工事請負の指名に加へられた事が無かつた然るに此の工事に於て始めて十萬圓以上の請負人として指名されたのである一方加藤にしても某官の推擧に由り初めて朝鮮に於て

◇指名請負人 の內に加へられたのである斯くの如き行懸りから此の二人が勢ひ攫猛に闘せず此の工事の請負を希望するに至つたこれが今回の談合金が突發的に又工事金額に比して高率に配當された所以である斯くの如くして津田と加藤とが其の目的の通り首尾よく初工事の請負を爲したのである

●主計正の殺人事件
陸軍主計正の殺人事件で一時世間を [illegible]

受けたり其理由は警告集一は今鬼し [illegible] げ所有の四谷區愛住町四十三番地の四月十七日自宅より出火し保險に附しある家屋の大部分は家屋と共に燒 [illegible] したる被告方に出入せる芝區白金三光町野口善樂は [illegible] 一月三日午後六時事に託して善樂玄を千葉縣千葉郡津田沼町字大久保の [illegible]

[illegible]

天氣 曇一時晴 ▲八月七日 [illegible]

日出 五時 [illegible] 日沒 七時 [illegible]

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
八月一日より提供の特別大寫眞 [illegible] ○新派大悲劇 乳姉妹 ○探偵大活劇 天誅 ○舊劇 天守の狐 [illegible]

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 黄金館 電話一八五二(局上) 二六三七(局下)
八月三日より納涼特別大興行 [illegible]

御成町 御成座 電話一九一一 革新派中村榮一行
一番目 [illegible] 二番目 喜劇 [illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番
東京演劇協會東京歌舞伎女優中村路香澤村紀久八松本錦糸合同一座
八月七日六日目 一番目 江戸狂言 若葉梅浮名橫櫛 [illegible] 中幕 歌舞伎十八番 勸進帳 大切 仲直り

門鑑紛失廣告
龍山步兵第七十八聯隊門鑑壹個
右番號五拾貳號
七月三十日午後三時頃靑坡町通りを經て龍山漢江通り陸軍兵器支廠前迄の街路に於て紛失す御拾得の方は左記の所へ御知せ被下度奉願上候(但し相當の謝禮す)
京城南大門通 電話(二三〇七番) 嶋屋本店

●移轉
會務擴張の爲左記へ移轉
性想鑑定は從前の通り一般依賴に應じ一定の學理の下に各人の性質運命其他人事百般の吉凶を明示し改善救濟の法を說示す
永樂町一(電話二二三) 但し交番所より北五六軒
東京性想學會朝鮮支部主幹 隈本修平

補血強壯 人參葡萄酒
京城靑葉町 發賣元 大橋屋商店

洋服毛織物保存法
◎洋服及び毛織物御保存なさる、には(ドライクリーニング)なさるが御安心です
◎ドライクリーニングとは一滴の水を用ひず毛織仕立物は勿論綿入たる物にても仕立の儘如何なる汚れも美麗になるのであります
一、仕立たる儘少しも形の崩れぬ事
二、地質を損せず變色伸縮せぬ事
三、殺菌消毒には是れより以上良法なき事
四、羽根毛皮毛布敷物類馬車自動車の中張如何なる大小の物にても出來ない事なき外皮手袋、パナマ帽子洗濯致し候
◎右クリーニング部新設致候間多少に係はらず御用命の程奉願上候
市內は電話又は葉書で御通知次第早速參上御用命に應じ可申候
京城本町一丁目(府廳橫) 菱川洋服店 クリーニング部 電話一三五三番

腦病良藥 レーベン
岡田博士を始め森、日向、飯島、福田、内田氏等十有餘名の諸大家が推奬せらる [illegible]
退守の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容易に體裁を害らず服用に極めて少くして效驗極めて大なり
藥價 三十錢・五十錢・一圓・一圓六十錢
東京銀座弓町 中南定太郎 大阪安土町堺筋 中南定太郎
信用ある藥店に有り

●竹の園生の
御榮え
△方子女王殿下のことども▽

□今回李王世子殿下の將來の御配遇とならせ給ふた梨本宮守正王の第一姫宮方子女王殿下の御近情を拜聞するに

□女王殿下は昨今御母君伊都子妃殿下と共に大磯御別邸に御避暑中である

□方子女王殿下は御年十六歲、平素より輝くばかりの御麗質にて御心ばせも氣高くお優しく在し御學友はじめ御邸の人々にまで皆其の御德を讃へぬ者はない

□御學問は目下學習院女子部中學科の第三學年にて御勉强遊ばされ其の御成績も洵に御美事に渡らせらる

□音樂は非常にピアノに御堪能にて毎日のやうに御彈奏遊ばされまた御邸の南側なる日本間にて御庭の松籟に和して御琴を遊ばさるゝ事もある

□また和歌は御歌所寄人なる千葉胤明氏について御學び遊ばされこれもなか／＼に御優れのやうに承る

□猶ほ王世子殿下との御婚儀は兩殿下共御卒業後の事と承るが其の御式はわが皇族の如く賢所大前に於て行はせらるゝ事なく多分特殊の合規により行はせらるゝ事と承る

□御婚儀の際には李王同妃殿下並びに李太王殿下も御上京參列せられまた御披露の御祝宴は霞ケ關離宮を拜借して行はせらるゝやに承る

□また朝鮮に於ては昌德宮に於て盛んなる御祝宴を擧げられ猶ほ李王家の祖廟にも御參拜の筈

□兩殿下の御邸は新たに東京に於て新築せられまた昌德宮內にも新殿御造營の筈にて時々は兩殿下とも京城に成らせらるゝやに拜聞す

『君が代』の作曲者フランツ、エッケルト氏

●天才の娘碁客
釜山田岡健太氏の一人娘

回東京の閨秀碁客として有名な喜多六平太氏の夫人文子（四段）の秘藏弟子に此の頃東都唯一の天才と稱せらるゝ芳紀十七才の婦人が現れた 回婦人は田岡ひで子と呼ぶ釜山の山岡健太氏の一人娘で今から五年以前に文子夫人の內弟子となつたのであるが去る七月中三段の吉田みさほ子女史と先で勝ち此の年內には初段を許さるゝ筈である

◎名古屋商業生來仁　愛知縣立名古屋商業學校生徒十四名は同校教頭小武田氏及び兒玉教諭に引率せられ五日午前十一時來仁し能谷部祭校長の案內にて市中を見學し商業會議所に到り京仁間の實況を受け業務に關する研究を遂げ同夕京城に引返したり（仁川）

◎金剛山夏季講習會　金剛山長安寺に於て開催の夏季講習會はいよ／＼八月四日より向ふ一週間開會、會員は總て朝鮮各地の小學校教

◎『君が代』の作曲者
△フランツ、エッケルト氏京城に病む▽

◇日本の國歌『君が代』の曲が獨逸のフランツ、エッケルト氏によりて作曲せられたとは人の知るところであるが其の人が今京城に淋しい餘生を送りつゝあることを知る人は尠ない

◇併もエッケルト氏は昨今宿痾革つて旭町黃鳥谷の自邸に餘程重態に陷つて居る

◇家にはマチルダ、エッケルト夫人が熱心に看病に盡しつゝあるが子息は神戶に一人あつて今一人は目下獨逸の戰線に起ちまた愛婿のエミール、マルテル君は佛軍に從ひ一家敵味方と別れて居る

◇エッケルト氏は彼のメーソン氏と共に日本音樂界の恩人と呼ばれた人で明治十一年日本に招聘されてから去る明治三十五年まで勤續したのであつた

◇後ち韓國政府に招聘されて今年の四月まで李王職音樂隊の養成に努めたが不幸戰亂の爲めに契約期間限り解雇となつた

◇氏は平素黃鳥谷の邸に在つて獨り自分の作曲を彈奏して樂みつゝあつたが初めビスマークが東洋に手をのばさんとして醫者のベルッと共に日本に送つた程の秀才であつた

◇殊に本國の獨逸では帝國樂師長たりしこともあり實に世界的の音樂的天才であつた

◇氏はむかしから日本の音曲を西洋の音譜に直したもので彼の『越後獅子』『春雨』『梅ケ枝』等の曲譜も皆此人の手に直されたものである

◇斯る隱れたる音樂界の世界的名士が今や京城の地に病むで居ることは假令氏が敵國の人であるにしても頗る同情すべきことである

◇殊に氏は非常なる隱君子で曾て自分が京城日報に氏のことを紹介した後ち內地の人から盛に手紙が來ると大に困ると云ふて居つた

◇佛蘭西では道回『マルセーユ』の國歌を作つたルウジエ、ド、リエルをパンテオンに葬り大奈翁の墓と共に祀つたといふことで獨逸でも亦『ラインの守り』の作者の記念祭を催ふして居る

◇氏の如きも實に日本と朝鮮の洋樂の母であるから何とか記念したいものと思ふ

◇猶ほまた氏の故鄕はポーランドに近き獨逸のシレジヤ州で彼の露軍の侵入で有名となつたブレスロウ要塞の附近である（恩地輔氏談）

番茶のあと

金剛山萬二千峰の最高峰たる毘盧峰の高さは△これまで參謀本部の圖面では一千七百八十六米突と記されてあつた△然るに近回土地調査局の測量班で測定したところに依れば實際は一千六百卅九米突しかないとが判つた△左右すると以前よりも百卅七米突低くなる譯だが呎に直すと五千四百○九呎となる△左右すると從來鐵道局の案內書にある五千三百五十八呎は實際の高さと大差ないやうである

回ゑびすりたて汁　えびの頭と皮と取りてたゝきつぶしてすり鉢に入れてよくすり鉢な少し加へて又すり二面だしのよく冷へたるを少しづゝすりませてどろどろの加減にして鍋に入れ其ましそつと煮立つる時は海老はふわ／＼とかたまり汁はきれいな水の如くなるそこへ種油少し入れてあじた試、わんにしり木の芽をそへる（青木はつ子）

神社とお寺と教會

○西本願寺（若草町）七日午後八時半より月例說教あり 講師は光照、三浦兩氏

○東本願寺（南山通）六日午後八時半より信友會講話あり『歎異の生活』川本智眼氏『阿彌陀佛に就て』芳山慶諦

●藤澤校長逝去　平安南道平原郡龍山公立普通學校長藤澤哲夫氏は教育界に在ること二十餘年に及びしが去七月三十日午後五時逝去せり

●平岡訓導の轉任　元山公立普通學校訓導平岡氏は今回元山公立實科高等女學校長に榮轉せるが同氏の送別會は八日午後七時より本町滿光樓にて開催すべしと

●小學生徒と遊泳　公立仁川尋常高等小學校生徒の小五年級以上の者にして保護者の希望ある者は健康診斷の上十六日より向ふ二週間猶ほ月尾島海岸に於て游泳練習を爲さすべし

●無料勞働紹介　黃金町一丁目無料勞働紹介所にて去る七月中の取扱人員は四百五十四名內地人百九十二名にして內就職者は女一名男七十一名なりと

宮本武藏
第百二十一回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

廣島城改築に就いて西尾孫左衛門と岡崎織部と軍學上經緯の論をする事になりました、此議論は長くなりますから大略することに致しまして、岡崎織部は北條流の大家西尾の攻めにもれ所でない忽ち議論に負けた、殘念と思ひましたが致方もございません、光晟侯御聞になつて岡崎の意見尤もなり改築に及ばんと仰せられ遂に城改築の議は御沙汰止めとなる、然るに西尾孫左衛門岡崎を憎むこと一通りならず依つて此事を長束傳八郎に相談すると、長束が『篤と決して御配慮には及びません、拙者が織部の息の根を止めて御無念を晴らしませう』と承知をして歸つた、長束が暗殺を引受けたのは一つの所由がある、何かといふと織部の娘お雪、絕世の美人である所から家中の若侍何れも想ひを懸ける中にも、長束傳八郎未だ獨身でございますから、此のお雪に靨魂打込んで人を以つて妻にと申込んだが、岡崎織部といふ人が恐ろしく頑固な人で、長束傳八郎といふ奴近頃お召抱へになつて僅か許りの馬術を表藝に三百石の祿を頂戴すさへ過分であるに、家老の西尾孫左衛門が贔屓にするのを頼みといたし人も無げなる擧動、總て氣に入らぬ奴だと思つて居ります、所へ此の縁談で、烈火の如く憤つてにべもなく刎付けて了つた、之れを聞いて傳八郎憎い奴は岡崎織部の爺、今に見ろ意趣返しをしてやろうから機會を待つて居ります、所へ西尾からの相談でございますから直に承知をしました、就て機會を待つて居りますと、其年の或る晩、岡崎織部が同藩の某宮兵馬といふ人の所へ弓術の稽古に往つて歸途、水主町といふ海邊町で夜中何者かに暗殺されました、供をして居た仲間の五助といふものが走戻つて悉々と報知る、倅左門が押取刀で驅付けた頃には曲者の行方知れず、作者が暗殺したか分りませんが左門には長束の所爲であるといふ事は分つて居ります、現場に槍の穗先が千段卷の邊りから切折られて落ちて居る、織部が切落したもので之れを左門が持歸つて證據といたしました、千段卷の下に金象眼で長束と銘が打つてある、光晟侯も非常に織部の死を惜しんで左門を家督相續させ、敵長束を尋ねて討たして遣はしたいと思召して居在になる、西尾孫左衛門は其晩直ぐに長束を何國へか落してしまつて知らぬ顏をして居ります

岡崎左門は太守に願つて父を討つた長束傳八郎何國に隱るゝとも探出して討たねば孝道に背く、依つて三年間お暇を願ひたいと申上げた、太守お聞濟になつて仇討免狀を下され、三年と言はず何年掛つても仇討相濟した上は立戻れ、元々通り家督相續いたさせるであらうといふ仰せ、我でお雪、左門の兄弟は若黨の作內仲間の五助の兩人を連れて國許を出立する事になりました、大阪の藏屋敷に拙方の叔父で山口兵右衛門といふ人が居るから之れを一先づ尋ねて相談をしやうといふ若へで大阪へ來て山口を尋ねると人情紙よりも薄い世ひ、肉身の叔父ではあるが今は孤兒のお雪姉弟、世話をした所で益もないと考へましたから對手にならない、江戸へでも往つて身の振方を付けろといつて木で鼻を括つたやうな挨拶、そこで姉弟も據なく大阪を出て江戸表へ向つて下つて參りましたが、所が途中から若黨の作內といふ男が病に罹つて三州鳴海の宿まで來ると危くなり遂に歿なつた、最後といふ時に、作內が海にお嬢樣御姉弟の御行末を見届けないで死ぬのは殘念でございます、が致方もございません私の兄が儀兵衛といふて江戸の神田白壁町で染物屋をして居りますすつて御身の振方をお付け下さるやうと吳々も言遺して其儘息を引取りました、姉弟は泪に吳れましたが據ない、貯への金子もあるから遺骸は厚く葬り、さて五助を連れて鳴海を出立、東海道を下つて參りましたが運の惡いといふものは、仕方のないもの、姉弟が又一つの災難を受けるといふお話。

鼈甲たる眼鏡及マグネット各種
三浦天龍堂眼鏡部
京城本町二丁目　電話一〇〇二番

京城本町三丁目（壽座南隣）
伊藤耳鼻咽喉科醫院
電話二二七七番
醫學士　伊藤隆

八月八日九星　西七月十日丁丑　本命八白良取佛滅

營業目錄
鑵詰　乾物　海産物　雜穀　洗濯石鹼
漆器　家具　文具、紙　綿、農具　ショベル　金物
陶磁器　簾　芦屛風　花莚
荒物　履物　澤庵、茶　昆布　鰹節　酒、石油
乳母車　雨傘　東京　簞笥　碁盤　蠅取紙
仁川新町　津田兄弟屋本店
仁川宮町　津田兄弟屋支店
京城本町　津田兄弟屋支店
電話七六二番　振替口座京城三八九番

ほまれ味噌
茂木式特許第一
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番

寫眞
京城日報社寫眞製版部
寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可憐製切を旨とし何時にても御注文に應ず

かつけ　特効新藥
陸軍一等軍醫正　ドクトル都築甚之助氏發見
日、米、獨政府專賣特許
アンチベリベリン
▼用法は……內服と注射
▼目的は……豫防と治療
▼常用は……萬全の上策
▼注射は……衛心の救急
▼適應は……かつけ一切
定價
發賣元　東京市麻布區笄町　南信堂藥局
說明書送呈郵券二錢
代理店　京城本町二丁目　木下不老堂
かつけ　特効新藥

わきが治癒良劑
わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感せしむ即刻治療されよ
■消臍散は幾多經驗のわきがも治癒せしむ諸藥効なく困難の人直ぐ試み給へ
重症用一圓半　特製二圓
送料各四錢　郵券不用
本家　名古屋廣小路通　小林藥大堂

謹告
今般其筋の嚴命に依り京城府內在住の葬儀請負業者は從來の惡風を一掃する爲め絕對に葬具の注文受けに訪問する事を堅く嚴禁致されたる者は京本警保發第六三二號に依り犯したる者は事に相成候に付御用の節は電話又は御使を以て御一報被下候はゞ直ちに參上御便利に御取斗可申上候　敬具
大正五年七月三十一日
京城旭町二丁目（府廳東側）
株式會社京城葬儀社
電話一五六七番・九五七番
三川屋　中河原重吉　井上芳太郎

現代家庭の寵兒桃太郎蓄音器生る!!!
（大）一臺　金拾五圓也
（小）一臺　金十圓也
（兩面音譜一枚金一二十錢）
目錄贈呈
京城本町　日本蓄音器商會

內科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三五〇番

安住かとり線香
各大博覽會金牌受領
一度使へば止められぬトハ本品愛用家ノ言
羽が生へて飛ぶ大人氣トハ本品販賣者ノ言
例年の通り景品券附　拾函買へば十函無代進呈
登錄商標

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區曾日町　安住大藥房

桐原集一（三五）に係る殺人放火事件は昨年より東京地方裁判所豫審判事係にて取調中の處三日有罪の決定を……ジマンシャール、ユニオン及びノール、ウイッチユニオン兩火災保險會社と各五千圓の契約を締結したるに同年……受けたり然るに右は放火の疑びあり尚被告は被保險物を實價以上に見積りて契約したる形跡あるを以て……に對し保險金受領の上……通すべきを迫るより被告は……殺害するに如ずと決意し同年十……

平壤府內の水害狀況次の如し……

●連絡船上陸客　五日朝釜山入港高麗丸一二等客　矢田部員介……

各宮家御用美容術大家マリールウヰズ孃を迎ふ

名聲彌々高き

美顔白粉

▲光榮燿く……桃谷研究試驗部▼

學者の創製したる美顔白粉一度尊貴の御用に召されてより、桃谷研究試驗部の名聲いよ／＼高く、美顔ユーマー、白色美顔水亦御用命を辱なうし、次で更に各種化粧品各進方の御命を拜し、引續き謹製奉進しつゝありしが、先般新に研究試驗部樓上に御用品謹製室を特設したるを機こし、各宮家御用女流美容術大家マリールウヰズ孃の來訪を乞ひ、其設備を御覽に供せし處、其用意の周到なる、設備の完全なる、一點の批難すべき所なしこて殊の外滿足に思召され、御用品調製に就き何彼こ御注意ありたる後、

「今東京の上流家庭で美顔白粉の勢力は大したものです。私の知つてゐる貴族の御家庭で美顔白粉を使かはれぬ方は殆ど無いこ言つても差支ない程です。兎に角あれだけの品質ですもの、どなたにも受けの良いのは尤もです。」

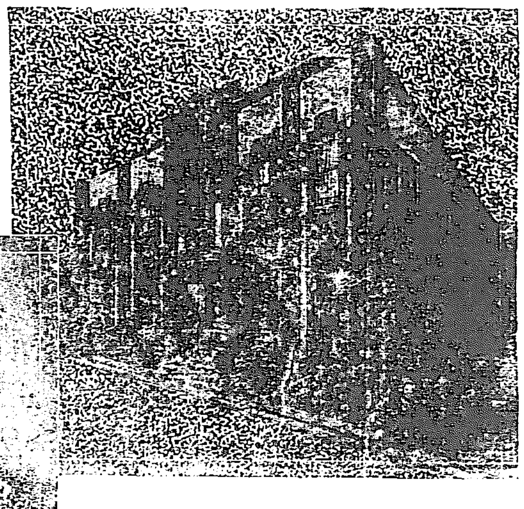
こ美顔白粉の品質に就て賞讃せられ、更に語を繼ぎて

「併し市中では未だ舊式の白粉でお化粧した方を見受ける事がありますが、其度毎に美顔白粉のやうな新しい完全な白粉が出來たのを御存知ないのかこ、お氣の毒に感じるのであります。無論美顔白粉のお化粧こ舊式白粉のお化粧こは一目見ても直ぐわかります。」

こ語られたるが、此の現今第一の美容術大家の言によりても、美顔白粉の品質の如何に優秀なるかを見るべく、斯くして從來の白粉こ異なれる美顔白粉は、

世の信用彌々厚く、上は畏くも尊貴の御用を辱なうし、一般家庭の賞用亦益々盛にして、今や日本に於る代表的白粉こして最大の賣行を見るに至れるは

全く學者の熱心なる研究に依らざれば創製し難き完全の品質こ、飛離れたる化粧上の効果この偉なる事は世人の認めらるゝ所なり。一口に白粉こ言ひても高下種々あり、我が邦に於る最良の白粉を用ひんこ欲し給はゞ、乞ふ必ず美顔白粉を召させ給へ



桃谷研究試驗部の外觀と御用品謹製室に於けるルウヰズ孃

■名譽ある美顔白粉を創製したる

桃谷研究試驗部

顧問　醫學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏
主任　藥學士　桃谷幹次郎
主任　藥學士　小磯勝次郎
　　　藥學士　齋藤鋭助

■美顔化粧料本舗

東京
大阪　桃谷順天館

57785.305

京城日報

第三版

京城日報
工塲法の精神

我國に始めて制定せられたる工塲法は、本年六月一日より實施せらるべかりしも、其の施行に關して諸般の準備の猶豫期を要する所ありて、之が實施の延期を餘儀なくされ居たるが、愈々今回施行令及び施行規則を制定公布し、來る九月一日より實施せらるゝこととなれり。

我邦に工塲法を制定施行する事は實に三十餘年來の問題にして、此の長き歳月の間朝野の周到綿密なる研究考慮を經て、漸やく之が完成を見たるなり。其の今日に至る迄には幾多の難關に逢着し、爲めに遷延を重ね來りしと雖も、紛そ我國の法律中未だ曾て此の工塲法の如く長年月を費やして生れ出でしものは、恐らく尠かるべし、以て本法の制定が如何に重大の理由の下に困難の事業たりしかを知らむ。今や附屬法規の制定公布と共に近く實施せられむとす、帝國の工業及び社會政策上慶賀措く能はざる也。

將に實施せられむとする工塲法は僅か二十五箇條より成る簡單なる法律なるが、之を施行令及び同規則と併せ見る時は、其の主義精神は飽くまでも古來我邦に於ける主從關係の禮に據はれる美風良習を保存し、且つは將來工業界の推移に適應せしむべく充分の研究を經て制定せられしものたるを了知するに難からず。固より法は秋霜の如く嚴乎冒すべからざるものなりと雖も、其精神とする所は春風甘露の慈悲に在りて存す。卽ち工塲法の眼目たるや規律と慈悲との權化たるに外ならざる也。今此法律の精神に遡りて之を見る。先づ第一に工塲主と職工とに對して規律を要望せり。紛そ社會が組織的に赴くに從ひ統制規律を要すべし。帝國の陸海軍が世界に精銳を誇る所以は將卒の間に嚴乎なる規律の存し、而かも溫情の上下互に相通ずるあるに因ること甚だ多しとす。平和の戰爭に於ける工塲は卽ち一の軍營たり。而して工塲主及び指揮統率の任に膺る事務員と其下に勞力を供給する職工とは恰も將卒の關係にあり。然るに我邦は、軍隊に規律ありて、未だ平和的工業軍團に規律少なく、勞働時間は不定にして衞生設備は不完全に、雇主の溫情[illegible]の自重心と[illegible]健に缺ぐる所[illegible]す。之れ我邦未だ工業に於て歐米列國の驥尾を摩する能はざる有力なる原因の一と謂はざるを得ず。若し我[illegible]世界の狀態を以てするも[illegible]是れ迄の程度にあらざるを知らず、今後益々發達して[illegible]に於ては、彼の如き[illegible]は是非とも補はざるを得ず。卽ち工塲法は此の缺陷を塡補し、平和的戰爭に勝者たるべき工業軍隊を組織し、完全なる組織の下に生產力を增殖せんとする一大理想の實現を期するものとす。

第二に工塲法の要望する所は工塲主の職工勞働者に對する慈悲溫情に在り。工業組織の要諦は一面資本の豐富なることゝ、他面勞力の源泉たる職工の慈撫愛護とに存すべし。歐米に於ける工塲に付、國家法制の下に工塲主と職工双互に自覺了解によりて、多年の間自ら工塲風儀の美を發せられ、或は工塲旗を造りて工塲の名譽ある歷史を雇主被雇主共に誇りとするものあり。斯の如きは單に賃銀の鐵則を析とする工塲に期す可らずして、雇主の慈悲溫情、職工の節制の存する所に始めて期するを得べきのみ。

我邦の工塲に於て最も多數の職工を使用する染織工塲を首めとし、機械、化學、飲食物其他雜工業を含める全國の工塲勞働者の數は大正三年末に於て男工三十八萬三千餘名、女工五十六萬四千餘名、合計九十四萬八千餘名、而して勞働人夫を加算する時は百萬を超加す。現在は尙著しき增加を告げ居るは勿論、將來益々工塲勞働者の數を增加すべし。此時に當り、或る意味に於て國家の工業に關する憲法にして、工塲主と勞働者との間に於ける根本法たる工塲法の制定せられ、將に施行せられむとす、之に依て我が工業は秩序的に最も健實なる發達を將來に確保せられたりと謂ふべく、九月一日は實に我邦の勞働經濟史上永久に記念すべき好日たり。

但だ此法たる、我邦には新らしき試みなるが故に、之が實施の曉には當分多少の錯誤なきを保せざるべし。斯かる過渡期に在りては、工塲監督及び執法責任者の態度は最も大切にして、法に慣熟せざる工塲主をして、工塲法を厭惡し、監督官を蛇蝎視せしむるも、將又喜んで之に服從せしむるも、一は執法者の態度如何に存す。と同時に、工塲主たるもの亦此法の精神を體得するに於ては、法は秋霜に非ずして春風たる所以を曉らむ。

米國と支那(三)
戰後の經濟的活動
五 米國石油と油田
▽陝西直隸の油坑

一九一四年二月二十日支那政府とスタンフォード石油會社との間に締結せられたる契約に依ればス社は陝西の延長、承德府及び其附近の油田と、直隸の延安府及び其附近の油田とを充分に調査する爲技師を派遣すべし、其費用は支那政府とス社との共同分擔たるべきこと、而して調査の結果該油田が果して有利なるを確かめ得ば之が開掘をなす爲米支合併組合を組織し、其資本金の五割五分はス社にて受持ち三割七分五厘は開掘權許可の報酬としてス社が拂込み、支那政府に贈與し、殘りの七分五厘は同組合成立後二箇年以內に支那政府が出資すべきものと規定せられ、支那政府は此組合に對し將來六十年間前記各地方の油田開掘と精製と販賣とを一手に掌握するの特權を與ふべきものとせり、別に若し前記各地方の油田が試掘の結果良好ならざること判明するに至らば他の油田を開掘するを得るの條項をも存せり、而して該組合より支那政府に納むべき鑛區稅は山地に於ける原油の一割五分以下と規定せられたりしが殊に注意すべきは該契約締結後一箇年間は支那の何れの部分を問はず石油坑の利權を他の外國人に許可せざるべき條項を存したることとなり

▽利權と調査 斯くて技師の一隊と必要なる器械とは米國より該油田調査の爲めに送付せられしが種々の原因に依り時日の遷延を來したるも結局前記陝西及び承德附近の油田に對しては十分の試掘を實行したり、之より先き支那政府とス社との間に締結せられたる該假契約の期限は一九一五年二月十日を以て盡くるに至りしも該期限迄には未だ本契約をなすに必要なる準備成らざりしを以て支那政府は改めて之を延期せり、ス社より新たに提出せる條件中精製及び販賣に關する新提議は獨占の性質を帶び原契約の規定と相違するものなるを以て支那政府は之を承認する能はざりき、並に於て支那政府はス社の提案を提出せしにス社の容るゝ所とならず、遂に交涉は一大障礙に衝き當りたり[illegible]上ぐるに至れり[illegible]直隸[illegible]陝西油田は[illegible]りしを以てス社は原契約の[illegible]を履行し躊躇して本契約を締結し、以て之に投資する能はずと申出るに至り、一時邦人[illegible]之を以て[illegible]問題の最期と見るべからざる理由あり。

以上は支那に對する米國將來の經濟活動の一斑を沿革的に叙したるものにして本記事は最近我が農商務省の調査せしものに據れり(完)

日 盛 (五の日十の日會所)

あく迄も日盛り隠田人動く　句半
日盛り豆腐挽く音降る　芳草樓
日盛の紺商人に訛ふ　浮翠堂
日盛鮭釣つては振廻はす　鳥耳
鯰の子の砂下りる日盛かな　虎
日盛り近き萬年青の虫見る　目池

京日詩壇

◯次望月桂軒慶仙瀛詩韻　高田 小茶

雪諷月訪詠詩仙。笑譚黃塵叉幾年。手只謝才籌非計富。虐蹤驂飲如思賢。嚴猿逢何事山中事。梅窓秋波上網。不識再

評曰 情景正合。韻致不盡。

◯江亭話別　栗原 華陽

相值幾何雖久留。權談悠々三兩鷗。明朝一別陽千里。無限情懷付水流。

評曰 流暢

◯首夏偶拈　高島 紫峰

芳事纔過綠陰濃。未聽杜宇尙聽蛩。窓因有竹風懷爽。樹不進園山黛明。聊了桑麻新計畫。已拋湖海酒心情。一杯思醉支頤坐。何意利妻摘茶烹。

評曰 筆意酣暢。不見刻劃之痕。後聯最幽雅。使人羨殺。

◯漁村春夕　西田 白陰

香渺波濤已夕陽。猶留餘照燦生光。桃花散處人收網。魚氣吹腥滿艫牆。

評曰 漁村實况。寫得逼眞。

日報歌壇

◯われ病めり　厨神 眞賢

窓かげに花ひとつ咲く鉢のあり病給の身にて病めるはいとしき
死ぬなどと思ひもせぬが看護婦の窓ひく夕となれば悲しき
憂鬱のゆくところなきや窓ぎわに かくも夕日の赤くにじめる
眺りかへす夕日がぱつと赤らみつ やがて暮るゝも不安なるかな
心臓を手さまさぐりしつたとならね 身のいとしさにだんまりてけり

七日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
發行所 京城日報社 京城太平通一丁目
[illegible]

商業登記公告

[illegible]

京城地方法院

公告

[illegible]

京城地方法院

[illegible]

水銀 新荷著 保税品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五、二七七四 振替京城二五六

各種染料 地方より御注文は各洋行品御希望の通り御買次可致候 染料商 後藤商店 京城長谷川町五十八番 電話二一一八番

GONOSALVIN 白檀油代用藥 ゴノサルビン
內服治淋劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的集成を等ふす治療的効果白檀油と相伯仲し殆んど消化障碍なき特徵を有す本邦產植物より發見せる純內國產なれば價格低廉なり故に本品は最も優秀卓絕なる白檀油の代用として
好評嘖々たり ●文獻見本進呈す
發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛 東京本町 小西新兵衛

櫻麥酒抽籤發表番號訂正廣告
六日朝刊京日紙上發表の櫻麥酒景品附抽籤番號左記の通り誤りに付訂正仕候
甲種 六等 誤 二、三六七 正 二、三六一
乙種 三等 誤 一〇、三一四 正 一〇、三一六
四等 誤 九、五一一 正 九、五九一
五等 誤 五、四四五 正 五、五四五
五等 誤 六、七四一 正 六、七六一
右記番號は同紙上脫漏に付追加す
乙種 五等 一一、六四五 三、一五八
朝鮮京城南大門通二丁目 合名會社 鈴木商店京城出張所 電話二九二四番

日韓書房 新版報告
吉岡孤舟譯 氷島の漁夫 定價一圓三十錢 送料十四錢
淺海一男著 勝海舟言行錄
大隈重信述 演說と座談
長田幹彥著 埋木
鐵道院 鐵道旅行案內
京城本町二丁目 日韓書房

一番安心シテ使ヘル 特製純十四金ペン先付 國產ナイル萬年筆 帝國萬年筆製作所 代理店 織居時計店

新譯 碧巖錄 四版 大阪屋號

夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品 雨覆日覆 雨合羽 冬絨洋服外套類 和服洋服商 金子奧市商店 龍山元町二丁目

江戸の氣よ今日はなりけり海苔の味
乾海苔 味附海苔 燒海苔 海苔佃煮
海苔鰹節商 柳屋 東京日本橋通一丁目

新刊書案內 世間學 朝鮮之金鑛 農家經營の實際 カイゼル外交の告白 維新二千五百年史 西鶴文粹 趣味を求めて 海のロマンス 日本アルプス登山案內 朝鮮より 朝鮮鐵道旅行案內 附金剛山遊覽の栞 ローマ字文自在 英詩藻鑑 おもしろき英語の手紙 新式文章作法手引 生きて物云ふ文章の作方 詩聖雪と北火 美文と紀行文 大正少年傑作文 新式作文上達法 同荒木又右衛門 幼年百講お話の庭 李王殿下東京御見物
京城本町 大阪屋號書店

大統領ウィルソン氏は米國內の製艦能力を調査せしめたる所其結果[illegible]上院委員會に回附せらるゝ[illegible]在報告を基礎として起工し[illegible]限度を察じて決したる[illegible]合はせて其數十[illegible]グラン[illegible]紀の艦型はやゝ短き爲め現在[illegible]以て進水し得る者とせば(多少困難[illegible])起工後十二箇月を以ては[illegible]十五隻を起工し得べし米國は契約後六箇月以內に起工し起工後十一箇月[illegible]進水し得るものとす[illegible]

英國皇帝の御親電

英國皇帝ジヨージ陛下は盟邦元首に對し左の御親電を發せられたり（倫敦電報）

朕は大戰亂開始第二年に際し我盟邦諸國が協力一致干戈を執つて起つに至りたる目的を貫徹する迄は戰ひを戢めざる決意なるを陛下に告げんとす朕は我勇敢なる軍隊が挑ひたる貴き犧牲をして無益ならしめず彼等が戰ひつゝある自由が完全に保障せらるべきものなるを誓ひ而して陛下が朕と同樣の決心ならんことを信ず

日露別定協約內容

ロイテル社の聞知する所に據れば日露別定新協約中には哈爾賓長春間の鐵道南半を日本に賣却し松花江に於ける日本人の航行權を認むるの條項を含み居れりと（倫敦電報）

協約成立陞爵祝賀

政府與黨各派の日露協約成立及陞爵祝賀會は五日午後五時より築地精養軒に於て開會し大隈首相を始め閣員一同加藤同志會總理島田早速下院正副議長、若槻、安達、片岡氏等與黨各派代議士、各地支部代表者等三百五十餘名出席し蜂須賀三郎氏開會の辭を述べ次で大隈首相は大略別項の如き演說を爲し終つて食堂を開き宴半にして加藤總理尾崎法相、黑岩周六氏の演說あり下岡忠治氏の發聲にて兩陛下の萬歲を三唱し九時散會せり（東京特電）

▲大隈首相演說

（前略）日本帝國は偶然歐洲大戰に會し正義人道の爲め劍を執つて起ち國威皇運の發揚を見るに至れるは悅ぶべし蓋し勢を制するものは人なり歐洲戰爭後日本が勢を制したるは一に係つて其の局に膺りし人物の敢然として所信を斷行したる結果に外ならず殊に前加藤外相故岡前陸相の功勞は言はずもあれ前若槻藏相の功勞亦決して沒すべからず予は是等の諸卿が國家の難局に膺り力を盡されたるを感謝するものなり（中略）日獨開戰の當時開戰に反對したる者なきに非ざりしも國民は國家の大局より見て黨派的私情を去り日獨開戰を是認せりこれ今日日露協約の成立したる前提なり歐洲の大戰猶未だ熄まず假令兵を戢むるも平和克復後國威國運の發展と共に國事益々多事を加ふべし前途は遼遠なり即ち諸君は益々國民の輿論に基き多難の時局に努力せんことを望む

チオーモン附近激戰

巴里來電四日午後四時發表の公報に曰くチオーモンよりフルーリーに至る前線に於ける戰鬪今尙繼續しつゝあり同前線にて獨軍は終夜極めて頑強なる攻擊を試みたりチオーモン附近に於ける敵軍數回の猛襲は多大の損害を被り擊退せられたるがフルーリーに於ける戰鬪も同じく猛烈を極めたり獨軍はフルーリー村落の南部に足掛を得んとして豫め準備砲擊を行ひたる後數回の襲擊を試み失敗したるが漸くにして其の目的を達したり同所にては烈しき戰鬪繼續中なり佛軍は此の戰鬪中に於て一時チオーモンの防備工事を奪取したるも敵軍の砲擊に逢ひ移に撤退したりフルーリーの東南方より我軍を驅逐せんとする敵軍の企畫は失敗に歸したりヴアシエローヴキル東方の我陣地に對する敵軍の攻擊は多大の損害を被りて擊退せられたりシエノイ地方のヴオー及びチヤピトルに於て激烈なる砲戰行はれつゝあり（倫敦電報）

白耳義軍兩地占領

ハーブル來電に曰く白耳義軍は獨領東亞弗利加ニゴマ及びウヂヂを占領したるがウヂヂはタンガニイカ湖に臨める最も重要なる要地にしてダル、エス、サラムより來る鐵道の終點なり（倫敦電報）

英軍敵前線占領

倫敦來電公報に曰く英軍はボヂエールの北方にて獨軍第二前線ニチマークを占領せり（紐育電報）

岡田來泉先生

敵機墜落

英軍飛行機四臺は敵の飛行機七臺と戰ひ戰鬪四十五分敵飛行機三臺を墜落せしめたるが其の際英軍の飛行機二臺行衛不明と爲れり（倫敦電報）

英軍鹵獲

公報に曰く英軍は必死的戰鬪の後敵軍をストコード河左岸の支流なるタヴオク河の對岸に擊退し獨兵六百機關砲十二門を鹵獲せり（倫敦電報）

大山元帥避暑

大山內大臣は七日午前七時五分上野驛發列車にて那須野別莊に避暑すべしと（東京特電）

松方侯爵避暑

松方侯は六日午前九時上野驛發汽車にて那須野別莊に赴きたるが當分同地に滯在避暑すべしと（東京特電）

支那貿易談

中山交通顧問歸朝

中山支那交通顧問は六日朝商船湖南丸にて門司に寄港漢口、神戶經由東上せるが其の談に曰く日支親善の根本問題は一に兩國貿易の發達に俟たざるべからず有識者が此處に著眼して努力せる結果二十年以前に於て五百萬兩なりし輸出額は最近二千五百萬兩に增加するに至れり是れ實に交通機關の發達に由るものなるが然も猶官報の如きは其の到著に甘肅省は百二十餘日四川省は四五十日を要する有樣にて如何に大國なりとはいへ誠に嘆ずべき事なりとす近年貿易は日本貨物の輸入最も多く輸出亦日本を第一とし到底支那人が我が商品に對し非購買同盟を爲し得ざる狀態に在り故に兩國實業家は各自進んで實地の視察を爲し益々貿易の發達を期する事肝要也とす而して從來と雖も視察者なきには非ざりしも機運未だ熟せざりしが今や其好機に逢著せり云々（門司特電）

鮮內金利低落

金融緩漫の結果朝鮮に於ける金利は銀行の預金貸附並に個人間貸借共漸次低落の氣味なるが當局調査最近の金利を前年に比すれば其の差額左の如し

▲預金利子低落　銀行定期預金は各地平均一年以上五分六厘六箇月以上及び二箇月以上五分五厘にして一年及び半年に於て八厘二箇月に於て二厘方下向き更に當座預金は最高一錢最低三厘其の平均は七厘にして前年より三厘の低落を示し小口預金最高一錢七厘最低一錢普通一錢二厘にして同じく前年より二厘方下落諸預金は最高一錢六厘最低七厘普通一錢一厘にして二厘方の低落なり何れ諸預金利子の低落は最近の事なり

▲貸附金利現狀　銀行貸附金利は普通貸附最高四錢七厘最低二錢三厘普通三錢四厘にして二厘方低落し當座貸越は最高四錢五厘最低二錢五厘普通三錢五厘にして同じく二厘方の低落を示し諸手形割引は最高四錢五厘最低二錢五厘普通三錢四厘にして三厘の下落なり

▲個人間金利漸落　個人間の金利は既報の如く漸落の狀勢にして之れを六月末の金利調査と五月末とを比するも其の差甚然たり乃ち朝鮮人間貸借は最高二十錢最低五錢一厘にして何れも前月に比し八厘前年に比すれば一錢一厘乃至一錢八厘の下落となり內地人間は最高十八錢五厘最低四錢四厘普通九錢一厘にして最高は六厘方下向き最低二厘普通六厘を何れも低落せり

內地通貨と朝鮮

最近調査補助貨の朝鮮內流通高見込みは五百十三萬九千八百圓にして一二箇月前に比し五十萬圓の增加なれど尙ほ不足の嫌ひあり又日本銀行兌換券の流通見込み高は七百八十三萬圓金貨百四十六萬六千圓にして結局內地各通貨の朝鮮流通見込高は一千四百四十三萬六千餘圓となる由

工業教育調查

工業教育調查委員會にては將來發達すべき工業の種類並に學校配置に關する調査は既に終了を見且つ大體決定の運びに至れるを以て今後は之れに基きて更に學校の編成及び教授細目を選定す可く目下諸般の調査中なれば遠からず終了成案を見る豫定也と

金融調査了期

度支部にては下官金融機關乃ち內地人側に於ては主に銀行鮮人側は契の狀況を調査しつゝある事は既報せしが先般來各道共誌まりしも其內一二道中若干の不備の點あり更に通牒の上再調中にて何れ今月中には結了出來すべしと

京城通關貿易

七月中京城通關貿易は輸移出十七萬三千二百九圓輸移入九十七萬四千九百四十四圓にして何れも前年に比し減少し居れるが輸移出重要品は牛皮六萬五千圓煙草一萬圓又輸移入重要品は綿織布二萬二千圓生金巾五萬一千圓綿布一萬八千圓毛織物三萬九千圓紙類四萬三千圓煙草二萬二千八百圓なりと

監査士制度に就て（下）

東拓理事　村田俊彥氏談

監査士たる者は人格高く誠實無私溫健の人にして而かも實業界の事情に曉通して計算經濟法律一通の心得あるものならざる可からず。會社の幹部たり又は幹部に關係を有して其の秘密を知るを利用し、株式市場に株式を弄し、或は他に秘密を售るが如きもの斷からざる今日の世に在りては監査士の人選亦難いかなと云はざるべからず。若し人選を誤らば其害虎よりも甚しきものあるべし。但し實行となさば世自ら其人あるべし。又會社は一般に其內部の狀況を他に漏らすことを厭ふ、監査士其人を得ざる場合には殊に之に其內事を語ることを忌むべし、醜ある會社は又其醜を發はんが爲一層監査士の監査を恐るべし。而して監査士をして監査せしむることゝならば其丈經費を增すこととゝなるを以て以上孰れの者孰れの理由にせよ、社會の未だ監査士を重せず、是あるも是無きも會社の信用に左程影響を及ぼさゞる時代にありては先づ可成御免蒙らんとするが一般の人情なるべし。是れ監査士制度設置の困難なる二なり。然れども監査士の監査は萬一の場合無からしむ一種の保險法なれば株主は進んで之を歡迎すべく其費用の如きは一種の保險料の如きものなれば之を吝む可からず。獨り株主のみならず經濟社會一般亦監査士の證明は之を重視し、之ある計算には一入の信を置き會社をして自ら監査士を置かざるべからざるに至らしめ之れなきものは寧ろ異例となすこと歐米の如くなるに至らしめざるべからず。勝田鮮銀總裁は先月の經濟研究會に於て我國の銀行の營業振も改められざるべからず、或は獨逸式を加味して事業會社と密接の關係を保ちて働く要もあるべきことを說かれたり。之れ時宜に適せる卓見にして誠に其の感を同うす、但し之を實行するには之に伴ひて監査士若くは之に類似の制度を發達せしむること最も肝要なるべし、現に獨逸に於ては監査士の制度は英、米の如く稍々發達せずと雖もトロイエ、ハンデルス、ゲゼルシヤフト即ち商業興信會社の制度は大に發達し、大銀行は概ね各自附屬の商業興信會社を有しこれを機關として其の關係せる事業會社の業務を監査せしむ、事業會社に自己の信ずる人を入るゝと共に此の監査制あり、初めて能く銀行が事業會社と連絡し活々せる働きを爲し得るなり。商業興信會社なるものは監査を以て營業の目的とし手數料を以て收益となす。監査士の最も發達せるは英國にして同國の會社は大小を問はず何れも監査士をして其の業務を監査せしめつゝあり北西鐵道會社の如き大會社に在りては監査士の補助員數名日々會社に詰め切て計算を監査す蓋し其事頗る多く計算期末のみに於ける監査にては到底監査し盡されざるを以てなり。歐米に於ける監査士の職務は獨り會社設立の場合に於て計算上の相談人となり、解散の際に於ては管財人となり、破産の場合には其の清算人となり其の他計算上の事項に關し質問に對し說明を與ふ。朝鮮の如き會社未だ發達せず且つ其の情弊未だ表はれざる處に在りては寧ろ監査士制度を真面目に實行して以て此方面より會社を取締り半島實業の發展を圖らしむること亦た一考に値せざるか。但し幾多の困難は是あるべし。

獎工會社創立進步

目下創立中なる東洋獎工株式會社は道廳の請負談合事件の餘波を受け或は一時中止の已むなきに至るならんと噂ありたれども同創立事務所に就て聞く處に依れば同會社は本事件の成行如何に拘はらず豫定の通り進捗せしむる計畫にて既に鮮內各方面實業界の有力者四十餘名の贊成を得引受株數も亦約一萬三千株に達したるを以て數日中に事務員三浦氏を內地に出張せしめ東京大阪方面の株數を決定し可成速かに創立せしむる筈なりと

北鮮より

▲咸南夏蠶狀況　咸南地方に於ける本年の春蠶は概して成績良好の裡に終局を告げたるが就中各郡とも桑葉の不足に伴ひ收繭量の減退を示せるは殘念なりしといふべし本期夏蠶に至りては春蠶の經驗に基き何れも共桑葉及び掃立の點に注意を拂ひたる模樣にて咸南總掃立枚數は內地種一千五百五十二枚にして在來種皆無之れが飼育戶數は約一千二百七十戶に上れり各地共掃立は七月十日より十五日迄の間に行はれ掃立後發見の發育頗る良好にして目下（七月三十一日）四齡乃至五齡に在り桑葉は六月以來降雨適順なりし爲め佳く伸長したるを以て不足を告ぐるが如き虞なかるべし而して本期に於ける夏蠶の收繭豫想を聞くに總量二百十五石餘なりと

▲咸南杞柳の有望　咸南各地野生の杞柳は近來俄かに世人の注意を惹くに至り長津郡の如き既に之れが栽培に從事するものさへ續出する有樣なるが咸南に於ては杞柳到る處に繁茂せるを以て之れに多少の人工を加へなば其產額を增すと同時に柳行李の材料として產業上將來極めて有望なるや明かなり咸南各郡中長津、豐山、甲山、北靑、洪原の五郡は最も杞柳の多く生產する地にして總產額を見るに普通の柳約二十萬貫乃至杞柳約十九萬貫に達せるも未だ細工用として多く用ひらるゝに至らず從つて一定の相場を有せざるは甚だ遺憾とするところなり

▲咸南葠參の有望　咸南に於て客年中十五萬圓の生產輸出を見たる野生葠參は山來高地帶に生殖し藥材として用ひらるゝ植物にして永興、文川、定平、德源、安邊長津の各郡に產し又平安南北道の境陽德面附近の各郡に於ても產出す葠參は支那上海香港方面に無限の販路を有するものなれば道廳に於ても夙に斯業の有望なるを認め之れが試植をなさしめたる結果全道の平地移植も亦自由なるを確かめたるのみならず却て人工移植のものゝ發育良好なるを以て目下之れが質上の効用に就き試驗中なるが質上果して効用に何等差異なき場合は大々的人工栽培を獎勵すべしと（元山）

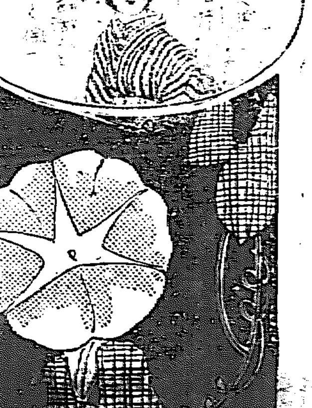
人事消息

▲中井國太郎氏（滿州製粉會社重役）　入京中の處五日夜退京

▲鮎峡氏（江原道春川慈惠醫院醫官）　六日午後入京不知火へ

南言北語

支那新聞を見ると袁氏の死去に就て一口噺を募集したら陳其美の幽靈に取殺されたと云ふのが一等に當選して居る▲其の理由と云ふのが面白い▲上海から北京までは二千支里あるから一日に百支里づゝ歩くと二十日目に北京に到著する▲所が陳の横死後丁度二十日目に袁氏は死去したのだから▲陳の幽靈がボツ／＼徒步で北京に到著して袁氏を取り殺したのだと云ふ洒落ださうな▲洒落も妙な洒落だが支那の幽靈には足があるから面白い▲民間飛行家連は殆ど支那革命軍に買はれて目下靑島や濰縣の革命軍飛行司令部に居る相な▲何れも報酬は一日十圓で月に三百圓になるから急に飛行成金になりかけた▲中には大枚の仕度金を送つて花嫁の世話を賴んで來るものもあるとか▲滑稽なのは異鄉の戀みに琴持參と云ふ條件の付いて居るのもあると云ふお轉婆には持て來いの口だらう▲土用の鰻は丑の日でなくとも都々捨て難い味がある▲鰻と云へば南洋のポナペ島の土人は鰻を神樣と崇て居るので決して捕へない▲今度日本人が行つて見ると澤山な鰻で大きいのは麥酒罎よりも太く四尺餘のものも居る▲繩引に牛肉をくゝり付けて投げ込むと忽ち喰ひ付く▲大の男が繩引を肩にかけてウン／＼云つてヤツト引上げる位だが馬鹿に不味いさうだ▲神樣の鰻を食ふは神樣を食ふ譯だから御利生も大分あらうが、其代り祟りも多からう



朝使へば一日中顏色を活々と美しく保つ

美顏ユーマ

本品の……成分及び効果と作用この詳細なる說明

創製の由來を

申しますと、現今內地製の多くの濃厚化粧液は、殘念ながら未だ歐米の製品に優るとは申されません。例へば液を濃厚にする原料にしても、アラビヤゴムとか布海苔とかいふ樣な物を使つてあるのが多いのですが、是等の物は毛穴を塞いで皮膚の分泌作用を妨げるので衛生上宜くありません。其上使ひ心地も甚だ快くないのです。斯うした不充分な點が種々あるのを取去つて、進んで皮膚の衛生と美とに就て一層の効を強め、舶來品に劣らぬ濃厚化粧液を創製したら非常な便益であらうと考へて、桃谷研究試驗部の諸學者は研究に取りかゝり、苦心完成したのが美顏ユーマーなのですが、

その成分は何

かと申せば、此濃厚化粧液の第一の成分は勿論あの濃厚な粘液です。此粘液にゴムや布海苔などを使つたのでは別段新しくも珍らしくもありませんし、美容衛生の効果も大した事はありません。桃谷研究試驗部では特にこれに力を入れて研究した結果、全然從來のものと質の違つた一種の植物性の粘液素を發見しましたので、是に美顏化粧料に獨特の新美容素、それから色を白くする力の多い或る白色劑原料、次に一般の濃厚化粧液にも用ひられる原料の中で數種、勿論品質の特に精良なのを撰び、これ等を配合して此新しい珍しい濃厚化粧液ができたのです。斯うして出來たユーマーですから、

その作用は

學問上にも實地上にもちやんと順序立つて居りますので、ユーマーの原料に使ふ新粘液素は、毛穴を塞ぐ樣な事が絕對に無いばかりか、皮膚を柔かに滑かにし、そして毛穴を開かせる作用を持つてゐます。これで毛穴の開いた所へ色を白くする作用のある白色劑と、皮膚を艶麗にする作用のある美容素が附いて、開いた毛穴から充分に吸込まれるのです。ですから液は微塵も徒にならず遺憾なく其皮膚衛生と美容上の効果を及す事ができるのです。斯ういふ風にできてゐる科學的の濃厚化粧液は決して外にはありません。ですから

その効用の

著るしい事は申すまでもない事で、朝顏を洗つた時ユーマーを附けますと、一日中顏色が晴やかで、湯に入つた時の樣な美しい色艶を保ちます。それから冬は顏や手の荒れ、夏は日燒を防ぎ皮膚を柔かに滑かにして皺を防ぎ、又かくし化粧となつて色が白く見え、常用すれば生地から色が白くなるのです。それから特に申上げ度いのはユーマーには白粉の溶水と白粉下ごしらへに比類しい立派な効果のある事です。此液に白粉を溶延して化粧すると皮膚に露がへて白粉のノリやノビが甚だ良くなり其上白粉に何ともいへぬ美しい光澤を生じて、お化粧顏の美しくなる事全く驚くばかりです。

なる故岡田寒泉（恕）先生は…下の士にして元文五年十一月牛込區に生る文武兩道の奥を究め寛政元年松平定信に抜擢せられて儒官に列…と爲るに際し松平氏の顧に應じ…制の釐革備荒貯蓄荒地開墾殺兒等の惡弊を一掃し寺院風紀の矯正博奕禁…

◉浦鹽輸出大豆

浦鹽港より輸出の大豆は大正四年に…產物が浦鹽よりの輸出盛大となれるは全く東清鐵道會社が低率の運賃を…にて寛城子浦鹽間に比し約二百哩短距離なるに拘らず大豆一噸の運賃は…

…日京城高等…三十日迄の宿料を踏み倒して南…米倉町掘谷某より夏帽一個を横領し

◉馬賊六名逮捕

數日前…本町署の手に捕へらる

◉青年男女驅落

…市敦原春子(二〇)と云ふは豫ねて同地…

黄昏　淡江

◉儲つた百拾四萬圓

儲けたいふよりも旨く節約して剩した消極的の利益？

船成金でもなく染料成金でもなく一年の間に百十四萬圓を剩した所が京城にある、其の儲けた所は何處か？それは朝鮮總督府臨時土地調査局である、尤も其の百十四萬圓は積極的に利殖したのではない、大正四年度に使ふべき豫算を旨く節約して剩したのだから儲けたと云ふより寧ろ消極的の利益と云つた方が適當かも知れぬ何にせよ同局豫算

◇約五百萬圓の中◇

二割強を殘して次年度に繰越したと云ふ事は一寸問題で然も事業は豫定以上に進捗したのだから面白い、怎うして其麼大きい金を剩したか、調査局の當局は語る、仕事は年度內の計畫を十二分にやり金は百十四萬圓を剩した、其剩した主な理由は『功程給』制の實施の爲めです、抑々事務上の功程給制……早く云ふと仕事の分量により給金額を定むる……は從事者の奮勵を促し又其の熟練を進め結局起業者を利し併せて從業者を儲けさすもので、それが土地調査のやうに

◇小さい表や數字◇

を何百萬何千萬と取扱ふ事業には實益が目覺しい、今調査局に於ける之れが實行の效果を鑑みると寔に顯著なものがあります、其の二三の例を擧げると土地調査簿の騰寫は昨年三月に於て一人一日の事務二百十筆でしたが功程給制實施の結果最近では四百筆に上り從つて之れに從事する職員の給料の如き以前は一人一月二十七錢平均でしたが此頃は四十一錢に上りました、夫れだけ朝鮮人は利してゐる譯です、又地價算出簿の記入は昨年九月に於て一日の功程約千三百筆なりしもの最近六千九百筆乃ち約

◇四倍以上の增加◇

を來し均しく從業員日給の如き三十錢から五十六錢に上りました、從つて其の間の相互利益は少なくない、さし向き調査局では一人一日に付四千餘筆を利してゐる譯です、更に割合簡單な地籍圖抄印は以前二日一人の功程千五百筆だつたが勿然最近六千六百筆と云ふ多數に達し之れ亦四倍以上に及び從事員の日給は平均二十九錢より五十四錢に上つた、又給料增加の最も甚しきは積算作業です、功程級制實施の結果京城日報に先日掲出されたやうに算盤の天才が輩出し昨年七月日給平均三十一錢は最近七十錢に上り事務功程も

◇一人一日二千筆◇

のもの七千五百筆と云ふ大躍進です次に整理課に於ける簿書作業を見ませう、此の方は從前日給一日三十錢だつたのが今日では四十八錢に上り事務功程の增進は俸給增加以上だから一筆當り調査費の單價は昨年四月に於て五毛一絲なりしもの最近二毛六絲に大下落し製圖作業の方を見ても從前一筆當り調査費單價一厘なりしもの今や五毛二絲に低下した、如斯功程給制の利益は獨に從業者をホクホクさせるのみに止まらず政府の利する所の甚だ少なくない事は一筆當り調査費單價の低下により之れを知る事が出來る然も調査局の事務は筆數が非常の多數に上り

◇從業員が數千人◇

の多數を算するのであるから結局殘つて來る金額は巨萬の多きに達するのです、尙ほ政府の利益は一筆當り單價の低下のみに留まらぬ、一人の事務の功程が著しく進むから人員を減少してよい、減員の結果事務室の設備費其他の經費が小額で濟み監督者の數を減らせるから諸經營費も節約が出來る、殊に功程の增加により土地調査終了年月を短縮するを得て一般行政上多大の便益があります、之れ大正四年度の土地調査費に多大の殘額を生じた理由で決して剩餘を生ずるやうな豫算を豫算に籠めた譯でもなければ見當異ひをやつた關係でもない

◉學生の行方不明

黑子嶽登攀を企て、

東京帝國大學法科大學生小山修三(二二)同藤井彥七郎(二七)同安川平右衞門(二三)同工科大學生中村孝三(二三)深川小學校教員山室林次郎の五名は六月二十五日高山跋涉を思ひ立ち甲武、信三國々境なる黑子嶽の絕頂金峰山に登らんとて東京を出發し中央線鹽山驛に至りし迄は蹤跡明かなりしも其の後音信不通となりたるより留守親戚等は不安の念を抱き山梨縣警察署に照會したるも不明なるより父兄友人等五名は五日東京發甲府に向ひ同地警察部の應援を得て人夫十數名を傭ひ黑子嶽方面に於て大搜索をなしたるも未だ其の所在を發見せず一行は過日の暴風雨に逢ひ溪間の河水增水の爲め溺死したるには非ざるかと（東京特電）

◉粥の中に毒藥

良夫親子の殺害を圖る

慶尙南道密陽郡下東面二浪里崔順伊(十七)は本年三月其の從兄なる李文伊(三十)に入嫁せしも夫婦の間睦しからず兎角紛紜が絕えざるより崔順伊は夫を嫌ふ餘り遂に殺意を生じ一思ひに毒殺し呉れんと實家の母金玉伊に相談せしに母親金玉伊も之れに加擔し久しく家に蓄し有りし猫を捕ふる猛烈なる毒藥硫化砒素を其娘に與へしかば崔順伊は家に歸り本年四月三日朝之れを副食物に混じ夫に飲ませしも少量なりし爲め利目無かりしより翌日又復粥の中に投じたれば之を食したる母の李華介は忽ち吐血し夫文伊は大いに苦悶せし揚句身體の自由を失ひしも尙は生命に異條なかりしを煮やし更に三回目の食事中に混和して喰しめ今度こそは成功せしたらんと心秘かに喜び居しを夫李文伊が毒物なるを感知し崔順伊を取押へ其筋へ訴へ出でし爲め惡婦親子は直ちに逮捕され崔順伊は裁判の結果遂に懲役六年實母金玉伊は同五年に處せらる

先生から

暑中休暇中の 生徒諸君へ —3—

◇一箇月以上に亙る暑中休暇は發育の旺盛な子供の身心に取つては可成に短かくない時間であるから、家庭が子供に就て相當の注意を拂ふと否らざるとは、休暇後に著しい相異を生じて來る

◇即ち一方は暑中休暇の爲めに身體を強壯にし教科書以外實際の智識を得たるに反し一方には却つて休暇中に身心を闘弱にし休暇前に教へられた學科まで忘失して終ふやうな結果になる

◇之れに關して大邱公立小學校長赤峰竹太郎氏は語つて曰く

◆世の父兄◆ は兒童の身體と精神との發育に注意し務めて障害なき様注意して貰ひたい即ち起居動作より飲食、容儀、作業、寢起きに至るまで凡て規律正しくさして欲しい又

◆兒童單獨◆ の夜遊は弊害のあるものであるから父兄は充分に取締つて欲しい家事の手傳ひ見習は兒童訓育上肝要の事なれば家の周圍の掃除撒水栽縫洗濯動植物の世話させるか宜しい

◆此の外に◆ 學科の復習、衞生に付て細心の注意を與へる事は云ふまでもない

◇猶此事に就て吉村木浦小學校長の談話の一節を摘ぐる

◆誰も平素◆ は氣が付きながら充分に出來難い保養なども休暇にさせて子供の成育健全を圖るのは極めて必要な事である即ち海遊の生活とか森林又は高原の生活を試みるとか云ふ事や殊にトラホーム等を患つて居る生徒は

◆此の休暇◆ を利用して專心に治療し全癒させて置くがよい學科の復習は不得手な科目を此の休み中に十二分に習得させて得手の學科と同じ歩調にさせて置く事

◆また田舍◆ に生活して居る小供は是非此の間に一度は都會へ伴れて行つて見聞を博くして置く必要がある

◇群山小學校の■本校長は前述と同じ意味な生徒に數へ求めて居る

◆よく家事◆ のお手傳ひをしなければならぬ、家の內外の掃除お使ひに行く事何んでも出來る丈の事は潔よく爲なければいけぬお錢を無駄に使つたり危險な處で泳ぎをしてはならぬ

◇その外に衞生復習等に就て難しい教訓が與へてある

◇一體人間はあまり規則づくめで生活を拘束されて終ふと強者は反抗し弱者は規則に囚はれざらんとして少さく成つて動かない其中間に在る狡猾なる者が惡德を鍛錬させられる

◇だから家庭では各自の子供の性質を理解して寬嚴宜しきを得るやうに努めなければならぬ、學校は多數の生徒を一樣に教養する處で我子弟一人に適應した教法ではないことを父兄たる人は先づ考へて居らねばならぬ

◉一萬餘圓拐帶

小樽稅務署監督部長吉田兵次(三七)は官金一萬千八百八十二圓を拐帶何れにか逃亡したる爲め目下行衞嚴探中なるが右官金は區內伊勢屋某の相續稅を二十七日金庫より引出し鄕里岩手縣の父危篤との僞電報にて歸省の許可を得て遂電せるものにて妻子を置去りたり原因は藝妓勝子を情婦とし居り遂電の際一千圓を與へたる事も分明し尙ほ他に餘罪あるべしと（小樽）

◉横著な外交員

去月十七日明治公債信託釜山出張所勤務外務員山本源三郎(三五)と稱する外務員山口善三郎(三二)の二人が大邱に入り込み北內町防長館に投宿し鮮人某を月給を給する約にて外務補助員として傭ひ入れ使用しながら給料を支拂はざるのみならず防長館への宿料を不拂のまゝ兩人は何れにか姿を隱したりこの訴へに依り大邱署にては爾來兩人の行方搜査中山本は何喰はぬ體を裝ひ去二日大邱に來りしを前記使用せられし鮮人が見付けて給料の請求をなし居るを警察署にて探知し三日山口も亦大邱に來りしを取押へて取調中これを聞きたる明治公債信託大邱出張所の係員は早速警察署に出頭し兩人の宿料その他を辨償すべければ今回は特に放免せられたしと懇願したるを以つて大邱署にては兩人に深く將來を誡しめ大邱より退去すべき旨を命じ兩人の身柄は放免したりと

◉仁川會の歡迎

目下京城在住者にして久しく仁川に居住し最も仁川に縁故深き足立十八銀行取締役宮崎本町客業局長其他十數名は今回仁川會なるものを組織し六日八阪樓に於て一日の清遊を試むるに就き奧田、加來、箱田の諸氏發起となり歡迎の趣旨にて仁川の有志も之れに加はり舊交を温むる筈

◉震死

平南平原郡龍淵面杉村里農家中崔某は自宅東方約一里の無名山にて薪を採伐中落雷の爲め震死を遂ぐ

◉溺死二件

平南大同郡古平面向里田井國(一)は七月二十八日午後五時頃同郡龍山面返上里普通江岸にて蜆貝を採取中老人の事とて足を辷らし江中に墜落し溺死を遂げたり▲平南順川郡仙沼面舊衙村柄淳二男龍洙(六)は七月二十八日午後五時頃自宅より三丁餘の小川に水泳中過つて溺死す▲平安南道龍岡郡金谷面南下里農朴昌根は豫て癲癇病者なるが去る一日午後一時頃自宅より四五丁距りたる水田にて稻の除草をなし附近小川の岸にて午睡中持病の癲癇病を起し小川に墜落溺死を遂ぐ

◉櫻井校運動場擴張

櫻井小學校の運動場約二百五十餘坪の擴張に就ては學校組合に於て關係地主五名との間に買收の手續中なりしが荒井初太郎氏は既に承認の回答を爲し來りたれば全部の買收を終らば來る九月下旬頃迄に擴張工事を終る豫定にて工事に著手すべしと

◉冷泉と浴客

平南中和郡□□面□□里中和郡を距る西方一里十八町餘に冷泉あり古來鮮人は多良泉と稱し諸病に治効ありとし入浴者多く殊に同所は避暑の好適地として近來平壤及び南浦より續々內地人の浴客多し

◉洋傘を盜む

京城太平町一丁目生れ住所不定の徐相俊(二七)は七月二十四日午前四時頃瑞麟洞休龍來方に忍び入り同人の洋傘一本(三圓二十錢)を竊取し鍾路署の手に捕はれたり

◉配達夫の泥棒

京畿道漏泉面長院里郵便配達夫尹萬山(二〇)は同里の朴春京妻李他官(二〇)を騙めたる一件は京城地方法院にて懲役二年の處分されたり

◉二人連れで忍び入る

京城黃金町一丁目居住京畿道廣州郡生れの朴晟鎬(二〇)は太平町二丁目居住金相賢と共謀し二日太平町水野某方に忍び込み古靴其他を竊取し本町署に捕はる

◉不正商は嚴罰

松井鍾路警務署長談

鍾路夜市で七月二十一日の初市以來取引された金額は一夜三千圓乃至四千圓に達し夜市取締側の人々も其の盛況に驚いてゐる程である、昨今每夜の露店數は大抵五百を下らない、此の內に內地人が約七十名許り加はつてゐるが倘

▼申込者が續出 してゐる是等內地人は何分景氣に煽り立てられ種々の日用雜貨類や食料品などを擔ぎ出し向ふ鉢卷きでいらつしやい〳〵の呼賣りをやつてゐる所は欣ぶべき事であるが却つて內地人の內に粗惡な品物を朝鮮人向きなどと稱して賣つて居るのは不屆である

▼先夜も內地人 のカステラ屋が腐つたものを非常に安く賣つてゐたがあまり安いので盛に賣れたが試みに一個を調べて見ると外見は何ともないが中味は全然腐敗してゐたことを發見した、そこで早速同人に就いて右のカステラの出所を訊した上

▼直に廢棄處分 に附し更に嚴重に取調べた結果に依れば幾多の人の手を經て鍾路の夜市に擔ぎ出されたものと判明したので始末書を取り相當處罰することになつてゐる斯うした不德義な商人が跋扈するやうになると第一顧客が迷惑するのみならず延いては全體

▼商賣の取引上 の信用に關する問題であるから統合へ全部として少なりとも斯る忽諸に附すべからざる事であるから今後は容赦なく取締りを嚴にして顧客を欺くやうな不正商人に對しては斷然たる處置を取る積りであるし同時に他商に於ても更に一般當業者の公德心に訴へて商品の選擇と販賣法の正鵠を期し夜市の健全なる發展を促進したいものである

◉醉泥の咎

仁川宮町內藤組人力車夫李基元(二七)同仲町二丁目丸山組人力車夫池魯童(二二)及び同金谷里番地不詳無職韓興俊(三二)の三人は五日午前二時半頃泥醉したる上仁川敷島遊廓蜂仙樓に於て亂暴したる後他人に喧嘩を吹き掛け警官の制止を用ひざるにより仁川署に引致の上五日李は二十九池及び韓の兩名は二十五何れも笞刑即決の處分を言渡さる

◉圖々しい亭主

黃海道安岳郡邑內面瑞山洞雜貨商黑元益は信川郡よりの歸途川中に墜落し携帶品及び所持金四十八圓を水に濡らし信川郡芦月面五局洞車有永(四二)方に一泊を乞ひ濡したる紙幣を乾かし居たるを車石永が認めて惡意を生じ黑元益の隙に乘じて之を竊取したる事發覺し此程海州地方法院にて懲役四箇月を言ひ渡さる

讀者文藝（一等には廿錢の書籍券を呈す）

△物は付『苦しいものは』

○毒藥自殺の死に損こない（一等）　京城本町三　入阪多美子

▲貧の窮兒　大田　森川秋高

▲知らぬことを子供に問はれて　釜山　政公

▲空腹に驅け足　京城　紫雲

▲最後の一足　平北生

▲其心の硬い　仁川　寫郎

▲料理と疲れ　鎭南浦　紫峯

▲夏の強行軍　釜山　鐵心

	締切	發表
▲一口噺頭險窟	六日	八日
▲前え	同七日	同九日
▲謎『西瓜と掛けて』	同八日	同十日
▲狂歌『汽車』	同九日	同十一日
▲俗謠『行水』	同十日	同十二日
▲川柳『日』	同十一日	同十三日
▲次回物は付『非常識なものは』	同十二日	同十四日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲開賞は一週間後▲締切後の到着物に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲此規程に依らぬものは沒書

◉正誤　六日朝刊掲載の麥酒袋品附抽籤番號發表廣告中甲種六等二三六七は二三六一乙種三等一〇三一四は一〇三一六同四等九五五一は九五五九一同五等五四四五は五五四四五同六等七四三一は六七六一の誤りに付訂正す

京日案內

◉店員入用　希望の者は直接來談あれ但し市內確實なる保證人を要す　京城本町四丁目　丸山商店

▼古本雜誌　反古高價買受　明治町

◉本町二丁目　電二五一七　◉ヤツボヤ書店

◉松汀里光州間自働車は大田木浦間下りの列車に聯絡す　▲光州自働車會社

番外

女店員入用　年齡十五六歲より廿五六歲迄電話に經驗ある者（但無配偶者に限る）一番希望者は自筆履歴書携帶本人來店あれ　京城本町三越吳服店庶務係

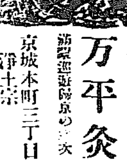
鑛物各種分拆　太平通二丁目百三十番地　朝陽分拆所

尺八音譜新著　東京尺八講習會發行川本逸童先生作　御近刊　電京城一六　本町二　嚴松堂

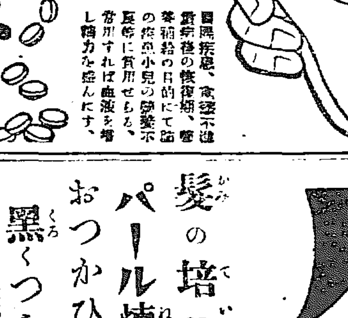
記者招聘　中學卒業程度に見習記者向上的精神の旺盛なる心身の健全なる者を望む希望者は從來の經歴と現在の境遇とを知らせ（姓名秘）

京城春川間每日午前八時出發　京城廣橋自働車　南大門通一丁目　電話二一九番　主務　金正淵

灸術專門　東京　万平灸　京城本町三丁目　淨土宗開教院入口



胃腸最新藥　ヂゲスチン　三十ヶ國專賣特許



胃腸疾患、食慾不進、病後の恢復期、營養補給の目的にて脂肪不足の病人小兒の營養不良症に賞用せらる、常用すれば血液を增し精力を盛んにす　說明書進呈　東京本町　圓城商會

金銀赤銅鐵ニッケル　近視老眼最上特製品　京城本町一丁目　郵便局前　中村眼鏡部　各種鏡石用　電話番號百十七　振替口座三四六

髪に一等よいあぶら

パール

(世界的)煉香油(婦人向)

髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黑くつやを增し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舖東京　平尾銑也商店　關西代理店大阪　平尾贊平支店

女鳩

渡邊默禪

「六七」前と後と

女中頭の住江は秀子と物言ひをしてから、何となく氣不味くなつて、碌々口も聞かなかつた。また秀子の方でも顔を合せることさへ厭はしいやうな他々しい素振を見せてゐた。で、假裝會のことについてはまるきり除物にされて、何一つ相談をかけられたこともなかつた。萬事は小間使のお孝が承はつて、心利者になんのかんのと趣向を凝した。若奥様の

鈴木平馬は風邪の氣味で二三日引籠つてゐたので些とも此の事を知らなかつた。快くなつて出て來て見ると最う後の祭、招待狀まで配つたもの、今更中止もさせられぬので、苦い顔をしながらも默つて爲すが儘にまかせるより外はなかつた。

そんな風だつたので、當日はお孝やその他の女中が面白半分に飛出してはきやつ／＼言つて騒いでゐたけれども、住江一人は午後から自分の部屋に引込んだきり、庭先が賑はつてから一寸垣越しに假裝の人々を覗いたゞけで、顔を出さなかつた。そのうちに食堂の開ける時間が來て、お客は殘らず西洋館の方に集つたらしく、今まで陽氣にさゞめき立つてゐた庭園が急に蕭然となつた。

彼女は猫が好だつた。平生玉といふ雌を自分の子のやうに可愛がつてゐた。それがちやうど其時、庭先に忍んで來た雄猫に誘き出されて、ふいと姿を消したまゝ戻つて來なかつた。彼女は心配して搜しに出た。と、庭の梅林あたりで睨み合う聲がするので、何心なく其方へ足を向ける出會頭、ふと四阿の中に双つの人影を看た。

それが秀子とその隣の輝子らしかつたので、誰の眼にも二人の落合つたところを突止めて置いた彼女は、什麼してもこの意味ありげな第二の出會を見遁すことは能きなかつた。で、巧みに姿を潜めてその話を偸聽した。かくして秀子の大きな秘密は、無造作に彼女の手に握られて了つた。

それから後の住江は急に様子が變つた。何と思つてか衣裳を著替へた。顔を粧したりして、いそ／＼と西洋館の方へ出かけた。そして大勢のお客のなかに混つてあつちこつちと歩いてゐた。

秀子は餘興の方が忙がしいので、そんなことを知らなかつた。頓て餘興もお仕舞近くになつて、秀子が呪の雲を演ずるといふ間際に、住江は一番後に殘つてゐた空椅子に腰をかけた。その直前の椅子には尼姿に變裝した輝子が坐つてゐた。彼は背後に住江の來たことを知らなかつた。否、顧つて見ようともしなかつた。それを注意するには、餘りは多く娘のダンスに氣を奪られてゐた。

住江の目は舞臺の方には動かずに只一直線に輝子の後姿を視詰めた。輝子の視線は秀子の影を焼點にしてほとんど瞬きをする暇もなきまでにその手と足と同じ角度の釣合をとつて、忙しく舞臺の上をめぐつた。彼は背後から自分を監視してゐる怖ろしい目の下に、更に自分の怖ろしい目を睜りつゝ娘を監視してゐた。その監視はどのくらゐ娘がダンスに成功するかといふ技藝の能力を見るのではなくつて、どんな程度まで娘が此の服制の意味を理解するか、どれだけの同情を曲中の寡婦にもつか、どのくらゐの熱をもつてその曲に花をしてゆくかといふことを見る爲であるらしかつた。

と、秀子は呪の歌をうたふ時に、銀糸をふるはすやうな美しい肉聲は心臓の血を絞つて泣くやうな沈痛な響になつて、ひりひりと人の腸に沁込んだ。そして燃ゐるやうな眼に涙を滲ませて、狂的に空を睨み上げつゝ、詛へ詛へと呼びながら魔のやうに激しい靴音を立てゝ踊り廻る。その妖艶な、凄絶な姿を仰いだ刹那は一堂ひつそりと水を打つたやうに沈まり返つて、呼吸をする者すらなかつた。

凝然と硬くなつて見てゐた輝子は堪らなくなつたと見ゑて、椅子に獅噛みつかせた手を放しさま、突いと立揚つていきなりぱた／＼と拍手した。それに釣られた喝采が忽ち堂をゆすつた。

途端に輝子の上衣の袖嚢から、ばたりと足下に落ちた四角な包があつた。後の住江は逸くもそれに目をつけた。

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）
外科 花柳病 皮膚科
内科 耳鼻咽喉科
島崎病院 電話二七三六番
院長醫學士 島崎
手術室新設・隔離室・普通病室設備 入院随意 診察夜九時迄

皮徽科
皮膚病 徽毒病 痳病 膀胱 生殖器 機能障碍
入院随意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元二丁目）
佐藤醫院（電話一一七三番）

□公州迂疎會入選句 ―七月三十一日於詩夢莊―
（兼題）夏の雲、鵜、青芒

高臺に砲列布くや夏の雲　如風
羅やピアノに新譜試むる　同
丘越る巡査影無し青芒　同
夏雲の茜して磯へ後れ舟　雨村
夏雲や水走り入る發電所　同
羅や痩彌におはす一の姫　同

聲報の旗高々と夏の雲　宥石
夏の雲大河に這ふて龍の如　如雪
橋成らで樹はる石や青芒　同
頌徳の鉢鋳る寺や夏の雲　元香
うすものや翡翠の命婦とよばれ　同
謡殿や鼓にかけし誰が輕羅　同
うすものに花冠傑く宮妓哉　友萍
青すゝき四五軒遠く草の家　桂川
馬小屋に喰ひ殘されて青芒　不醉
羅に奈良の夕を味ひぬ　石香

○
夏雲や石おし流す麓川　鳥兎
羅や女醉ひ臥す楊の下　同
青芒木立に落る峰の雲　同

（席上吟）木下闇・蚊
下闇や水の音聽く石の上　可舟
一條の水白うして木下闇　由王
祟り神の古木の洞や木下闇　如雪
木下闇伸拾て入る三四人　不醉
佗しき挨一匹の蚊いとし星の　村無
いつ失せし石の地蔵や木下闇　雨村
羅で蚊で暮せる長屋の宍も好　同
關の倉の闇に蚊の鳴く何也　同
鮎提げて歸るや木下闇の里　元吉
敦杜の自動車にドット木下闇　同
神馬足掻く青葉がくれの木下闇　石香
草の月を過ぎ出る蚊人を數哉　同

○
鼻綴きに百済錦なり木下闇　鳥兎
木下闇くゞり出るや淺き川　同
くらひ醉ふて蚊數置る裸哉　同

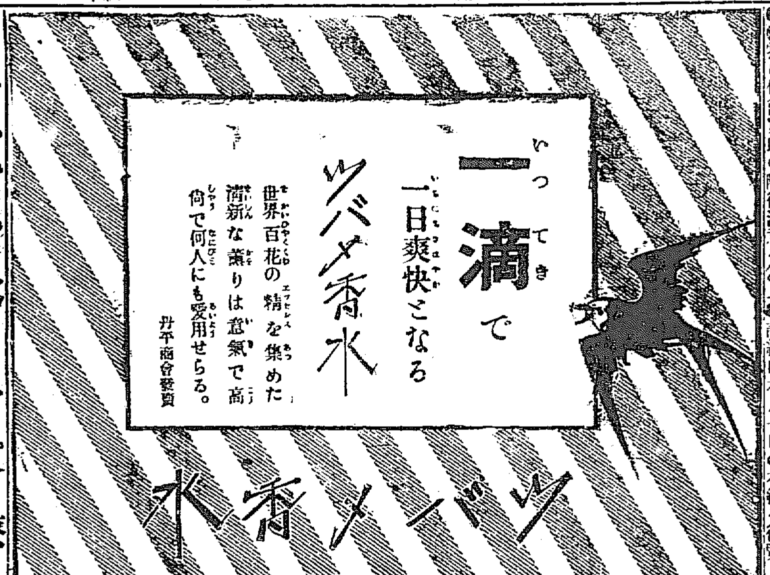
讀者の聲

▲石渡の某會に御照會致しますが近頃町一丁目の或る家にて毎日貴台の某二三名を見受けます支部でも出來ましたのですかてなければ貴台の御名譽に關しますよ（一醫生）▲白眼生に告ぐ喜ぶべきに喜び怒るべきに怒るは犬猫に於てすら然り喜怒哀樂の情に於て人間の禽獸と異れる點は節慾と自他を顧る事が出來るのである其所に德義と人格問題が生ずるのである主人は勿論妻子眷族共朝より晩迄（所謂人性の解剖手）喧々囂々恰も動物園の如きに至つて近隣の者迷惑一方ならんのである（近隣生）▲一寸申上候私儀は櫻井町邊に住でゐる者ですが町内の酒屋は粗拵子屋ですが諸事なと知らぬ者と見ればよい事にして積立金其他講金など滿會後一ケ年になつても先々月頃及び本年始め頃すみたる譯でも會計役を務めながら算用せねは不都合ではありませんか（ますよ）▲松毛虫の驅除に就ては朝鮮でも殆んど全道に亘りて苦心して居る様であるが近頃の京日を見ると松毛虫驅除の爲め防虫林を設けるに就て心あるものは意見を申出ろと云ふ事が仁川府の希望としてあつた山人の考として左に一言す最も簡單の方法としては松林の間に介在する天然生の濶葉樹即ちナラ、クヌギ、カシワの如き稚樹を保護する事である倘ほ一つは肥料になるべき落葉を取らぬ事である是等に對し當局者は相當なる規則を設け之を斷行する事である道に因ては規則などを設けた所もあるが之を勵行してない取締る事が出來ないと云ふ人があるかも知れぬけれど取締上少しも困難はない（不忘山人）

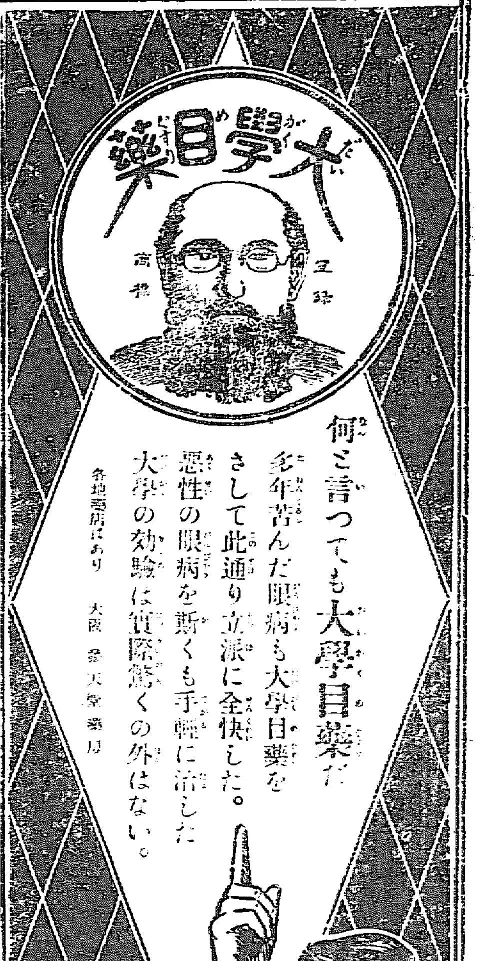
◉日米製艦能力

[illegible] 力は能くかくの如き大擴張計畫に [illegible] 後六箇月以内に起工して一箇年に戰 [illegible] 以て右調査報告にして誤りなき以上 [illegible] の如き長き艦艇を有する巡洋戰艦の [illegible] 月迄に十二箇月後に進水の運びに至 [illegible]

生殖器眞空療法
光榮ある專賣特許と大阪の實驗證明と患者の禮狀は偉効卓絶の明決的立證也
▲生殖器の短小や包莖にて外形が人並でない人又は陰萎早漏遺精夢精起力衰弱情味減少神經衰弱の人はハガキで申込は秘密療法の書入說明書を無代進呈す
（他に偽物あり眞正の專賣特許か否やに御注意）
東京市京橋本材木町三丁目 東京新療法研究所
大阪市北區北森町電車通り 大阪新療法研究所
皮かむり自療法



花柳病專門藥房
●りん病藥壹週分普武圓特製參圓
●小包料拾貳錢引換廿壹錢
●黴毒藥壹週分普壹圓廿錢特製貳圓
近來東京其他各地に偽ドラッグあり藥品に有田製なき物は凡て偽物に付御買取の際御注意を乞ふ詳細は本月一日の本紙を御覧
京城南大門外停車場通
ドラッグ商會 本部
振替京城四六七番 電話園二五六七番



最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油醸造場

流經新藥レスノリン
閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的ヲ達シ其流經作用ノ確實ナルコト
藥價一瓶一圓送費一割增說明書三錢切手二優越ス他藥
振替大阪二八七番
大阪北區曾根崎上一丁目三六地
發行所 常盤藥院
月經

ルーデサック
衛生必携品
A十個四十錢 B十個六十錢
廿五錢女用一個八十錢廿個以上一割引
郵券代用一割增外に要送料
京城黄金町三丁目振替京城三二二七番
山田文殊堂藥房

贊化病院
京城本町二丁目 電話二四二番
内科 小兒科
入院随意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

大邱浦項間自動車發着時間
上り 浦項發 前一番 後二番
下り 大邱發 前一番 後二番
（永川、河陽、安康等各地同着）
電話七番
大塚農場自動車部
電話一一七番
大邱出張所

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 八月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 八月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 八月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 八月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 八月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 八月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 木船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第一共同丸 八月 日午後 入港
大連にては南滿洲鐵道會社の定期船に接續し各地行貨物の運賃を取扱仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）第一阪鶴丸 八月 日午前十時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 八月 日後九時出 八月 日前八時出
（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 仙府町電話二四四番 田口回漕部
京城取次店 南大門通電話一六八・二〇七 河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社電話長一九五二番二一三一番
鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり、御用は支店、出張所、代理店、荷客取扱所に御問合を乞ふ
京城荷客取次店 京城南大門驛前 松原運送店（電話一七〇）
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 八月十日 八月二十日 八月廿四日 八月廿四日 釜山發
門司より釜山各港を經て雄基間航路
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 八月一日 八月九日 八月十日 元山發
元山より各港經由雄基行
○忠淸丸 ○平壤丸 八月十一日 八月廿一日 元山發
城津、清津、浦鹽行、復航釜山より門司又は長崎行
○永興丸 北鎭、五里浦行 每月廿八回 元山發
○會德丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 八月九日 釜山發
○江陵丸 ○漢陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 浦項發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 八月十一日 釜山發
○濟州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
各港經由三千浦、麗水行
○順天丸 各港經由麗水行（二日目一回水浦行） 三日目毎ニ麗水より木浦行に接續 木浦發
○慶興 各港經由濟州島行（每月四回） 八月九日 木浦發
○公州丸 南多島海列島行（月三回） 八月十三日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行（木浦） 八月七日 仁川發
○宗信丸 濟州港各港經由鬱陵島行 八月八日 仁川發
○江原丸 群山、大川、芝余行 八月七日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 八月十一日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、壹州行 毎日午前 仁川發
御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船一時間前迄に御送迎可致候 ○×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番二〇〇番
京城切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番

大阪商船仁川出帆
○外航所屆航路（過潮航路を除く）の船の時は五分引を以て通切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 安東丸 八月八日
×安東丸 八月廿一日
×天智丸 八月十七日 後五時出
○關門、神戸、大阪行 淳州丸 八月十三日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 八月廿七日 後二時出
×信濃川丸 八月九日
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 八月十三日 後二時出
×鎭南浦、大連行 信濃川丸 八月廿二日 後二時出
×信濃川丸 八月九日
○大連直行 日米丸 八月廿五日 正午出帆
△福州丸 八月十日
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 淳州丸 八月九日 後二時出
○群山、釜山、横濱行 福州丸 八月十六日 後二時出
×日米丸 八月一日
○清津、浦潮行（元山出帆）印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
△安平丸 八月七日 後二時出
△宮島丸 八月十三日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 八月十二日 後六時出
基隆丸 八月廿二日 前四時出

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 八月十日後四時出帆
○大有丸 八月十五日後四時出帆
○神佼丸 八月十七日後四時出帆
○秀吉丸 八月十二日後四時出帆
仁川港濱町三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連、天津行
○相模丸 八月七日 後八時出
○高砂丸 八月十六日 正午出
三河丸 八月廿七日 正午出
仁川港濱町二丁目 電話十二番 堀回漕